

筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群
世界遺産学学位プログラム（博士前期・後期課程）
Graduate School of Comprehensive Human Sciences
Master's and Doctoral Program in Heritage Studies

世界遺産学学位プログラム 履修ガイド Syllabus

Cultural Landscape
Architectural Heritage
2023

Art Heritage

まえがき

博士前期課程の世界遺産専攻は、2004年4月に芸術研究科に開設され、その2年後に博士後期課程の世界文化遺産学専攻が人間総合科学研究科に開設されました。どちらの専攻も世界遺産学に関わる基礎研究から先端にまでいたる幅広い専門研究の実績を上げてきました。そして世界遺産学学位プログラムはこれらの前身となる専攻の教育・研究成果を基盤にして、世界遺産学としての学術体系をさらに発展させていく使命をもって2020年4月に発足しました。

本学位プログラム博士前期課程の教育目標は、世界遺産をはじめとする文化遺産や自然遺産の保護と活用に関わる専門家の育成です。世界遺産研究に関わる修士論文の提出により、修士(世界遺産学)を授与します。また博士後期課程の教育目標は、世界遺産の保護と活用の分野における高度な実務専門家、研究者養成を目的としています。博士学位請求論文の審査を得て、博士(世界遺産学)を授与しています。

人類が築き上げた文明の遺産と伝統的な文化の継承、人類の活動と自然との調和的共生は全地球的な課題となっています。世界遺産リストに記載された遺産のみならず、地域の文化と自然は、過去から継承され未来へ託される貴重な財産です。しかし、これらの貴重な財産の一部は、自然災害、戦争や紛争、観光開発、気候変動など、人的・自然的原因により危機に瀕しています。文化遺産・自然遺産は人々の活動と地球規模の環境変化の影響下にあり、その保護と活用を巡る状況は複雑にして解決が難しい問題となっています。

世界遺産学学位プログラムは、専門的知識と技術をもってこうした状況に挑み、内外の専門家、行政担当者、住民等と協力・連携して遺産の望ましい保護と活用を進める人材を育成します。遺産の保護と活用に関わる専門家、研究者になるために必要な学術、技術、制度的知識は多岐にわたりますが、本プログラムでは遺産保護の実務に必要な理念、教養、方法論およびマネジメントの能力取得、および遺産の評価、調査、分析、修復を行なう技術修得を教育目標としています。本プログラムの人材育成が遺産保護という重要な地球的・社会的使命に応え、わが国の国際貢献に寄与するように努めていきたいと考えます。

2023年4月

世界遺産学学位プログラムリーダー
上北恭史

目次

まえがき	1
目次	2
世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）	
1. 筑波大学大学院スタンダード	3
2. カリキュラム・マップ	5
3. 例言	6
4. 履修方法	6
5. コンピテンス達成度評価について	7
6. 履修申請の注意事項	12
7. 授業一覧	14
8. 時間割	20
9. 学外の演習・集中講義等	25
10. 全学・他学術院の開設科目について	28
11. 世界遺産学インターンシップ	35
世界遺産学学位プログラム（博士後期課程）	
1. 筑波大学大学院スタンダード	38
2. カリキュラム・マップ	40
3. 履修方法	41
4. 履修申請の注意事項	41
5. コンピテンス達成度評価について	41
6. 授業一覧	43
その他	
1. 事務手続き補足（学生生活など）	44
2. 世界遺産学学位 P 教員研究分野	49
3. 世界遺産学学位 P 教員連絡先	51
4. 筑波大学令和5年度学年歴カレンダー	52

世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）

1. 筑波大学大学院スタンダード

世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)
Master's Program in Heritage Studies

授与する学位の名称	修士(世界遺産学) [Master of Heritage Studies]	
人材養成目的	世界の文化遺産・自然遺産が直面する問題の所在を政治・経済・社会・自然環境など様々な側面から総合的に把握し、その保護のための課題を解決する理論・技術を習得し、世界遺産条約に基づく世界遺産はもとより、広く国内外の文化遺産・自然遺産の保護に貢献できる高度専門職業人を育成する。	
養成する人材像	文化遺産・自然遺産の保護と評価のための理論、文化遺産・自然遺産の管理・修復のための技術、文化遺産・自然遺産が直面している問題の所在を総合的に把握し、国際社会が目指す目標との関係において課題を的確に設定し、解決できる能力を有し、文化・自然遺産の保護のため、一般社会の広範な領域にまたがる関係者と自在に交渉することができるコミュニケーション能力を持つ人材を育成する。	
修了後の進路	博士後期課程への進学。国や地方公共団体の職員、研究員等。文化遺産保護・国際協力分野の公的機関やコンサルタント関連企業及びマスコミ各社等の職員、研究員 ほか。	
ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力	評価の観点	対応する主な学修
1. 知の活用力: 高度な知識を社会に役立てる能力	① 研究等を通じて知を社会に役立てた(または役立てようとしている)か ② 幅広い知識に基づいて、専門分野以外でも問題を発見することができるか	世界遺産論、世界遺産特別演習、世界遺産特別研究、インターンシップなど
2. マネジメント能力: 広い視野に立ち課題に的確に対応する能力	① 大きな課題に対して計画的に対応することができるか ② 複数の視点から問題を捉え、解決する能力はあるか	世界遺産論、世界遺産特別演習、世界遺産特別研究、インターンシップなど
3. コミュニケーション能力: 専門知識を的確に分かりやすく伝える能力	① 研究等を円滑に実施するために必要なコミュニケーションを十分に行うことができるか ② 研究内容や専門知識について、その分野だけでなく異分野の人にも的確かつわかりやすく説明することができるか	世界遺産論、世界遺産特別演習、世界遺産特別研究、インターンシップなど
4. チームワーク力: チームとして協働し積極的に目標の達成に寄与する能力	① チームとして協働し積極的に課題に取り組んだ経験はあるか ② 自分の研究以外のプロジェクト等の推進に何らかの貢献をしたか	世界遺産論、世界遺産特別演習、世界遺産特別研究、インターンシップなど
5. 国際性: 国際社会に貢献する意識	① 国際社会への貢献や国際的な活動に対する意識があるか ② 国際的な情報収集や行動に必要な語学力を有するか	World Heritage and Civil Participation (世界遺産と市民参加)、国際インターンシップ、海外留学、海外学会発表など
6. 共通知の活用力: 文化・自然遺産保護に共通する知識を社会に役立てる能力	文化・自然遺産の保全に関する幅広い知識を社会に役立てようとしているか。	世界遺産論、世界遺産特別演習、世界遺産特別研究、インターンシップなど
7. 専門知の活用力: 文化・自然遺産に関する高度な知識を社会に役立てる能力	文化・自然遺産の保全に関する専門的知識を社会に役立てようとしているか。	世界遺産論、世界遺産特別演習、世界遺産特別研究、インターンシップなど
8. 共通技能の活用力: 文化・自然遺産保護に共通する課題の解決に対応する能力	文化・自然遺産の保全のため、広い視野から問題解決に取り組むことができるか。	世界遺産論、世界遺産特別演習、世界遺産特別研究、インターンシップなど
9. 専門技能の活用力: 文化・自然遺産保護の専門的課題の解決に対応する能力	文化・自然遺産の保全のため、専門的能力を活かして問題解決に取り組むことができるか。	世界遺産論、世界遺産特別演習、世界遺産特別研究、インターンシップなど
10. 国際実践力: 国際的視野を持って、文化・自然遺産の保護に取り組む意識	文化・自然遺産の保全のため、国際社会に貢献する意欲と語学力を身につけたか。	World Heritage and Civil Participation (世界遺産と市民参加)、国際インターンシップ、海外留学、海外学会発表など

学位論文に係る評価の基準	
(修士論文審査) 1. 修士論文審査専門委員会は、主査1名、副査2名により組織する。3名のうち、主査を含む2名は世界遺産学学位プログラムの専任教員とする。 2. 修士論文審査専門委員会の主査・副査全員出席のもと、個別審査を非公開で行う。ただし、他の教員等の参加の必要がある場合には、主査・副査の協議により、その取り扱いを決定する。個別審査は、通常1回とするが、必要がある場合には、主査・副査の協議により複数回行うことができる。個別審査では、主査・副査全員の合意により合格、不合格を決定する。 3. 公開審査では、個別審査の結果を踏まえて、学位プログラム教員全員により審査を行い、合否判定は専任教員会議において決定する。病気等やむを得ない事情により、公開審査会を欠席した学生の取り扱いは、専任教員会議において協議する。 (評価基準) 1. 世界遺産学の修士論文として適切なテーマが設定されていること(問題意識・課題設定) 2. 先行研究を踏まえた論文の位置づけが明確であること(研究の位置づけ) 3. 課題にふさわしい研究方法が選択されその論拠が信頼できるものであること(研究方法、論拠の信頼性) 4. 論旨展開が十分で、全体に大きな矛盾がないこと(論文の構成) 5. 研究の実施および結果の公開において倫理的な問題がないこと(倫理) (評価項目) 1. 独創性: 導入した概念や方法、発見した事実や法則のいずれかが新規であること。既知の方法の改良、異なる分野からの応用等を含むこと。 2. 萌芽性: 研究の着手段階であるが、新規な発想、着想に基づく研究で今後の発展の可能性の大きなものであること。 3. 発展性: 従来の定説を変え得る新事実の解明、あるいは新しい研究領域や研究体系・技術体系の開拓等の契機と成り得るものであること。 4. 有用性: 技術の向上、あるいは実用上、学術上に価値のある有用な情報を提供するものであること。	
カリキュラム・ポリシー	
世界遺産のみならず文化財の保存・修復、文化・自然遺産の保全、遺産地域のプランニングとマネジメントに関する幅広い知識と専門的な能力を身につけるため、実践的かつ学際的な学修課程を編成する。	
教育課程の編成方針	・大学院生全員が履修すべき必修科目とそれぞれの専門技術を身につけるための選択科目に分類し、効率的な履修ができよう教育課程を編成する。 ・選択科目群については、国際遺産学、遺産の評価と保存、遺産のマネジメントとプランニングの3分野に分類し、大学院生の専門性に合わせてバランスよく単位を取得することができるように配慮する。
学修の方法・プロセス	・1年次では、必修科目「世界遺産論」において各々の研究計画を発表するとともに、必修科目「世界遺産特別演習」において指導教員から指導を受けつつ、1年次末に研究計画をまとめる。 ・1年次から2年次にかけて、国際遺産学、遺産の評価と保存、遺産のマネジメントとプランニングの各分野の選択科目の中から、大学院生の専門に応じた授業・演習を履修する。 ・2年次では、必修科目「世界遺産特別研究」において指導教員から指導を受けつつ、修士研究中間発表を行い、他分野の教員からの助言も受けながら、最終的に修士論文をまとめる。
学修成果の評価	・1年次の秋学期末に、全教員の前で研究計画を発表し、学修状況の審査を行う。 ・2年次の秋学期に、修士研究中間発表を行い、修士論文の執筆を進める。修士論文が提出された後、主査1名、副査2名で構成される論文審査委員会の審査を受け、公開発表会を行う。
アドミッション・ポリシー	
求める人材	世界遺産の保護管理や活用のみならず、多様な文化の交流と継承に関する国際協力、生物多様性をはじめとする地球環境への取り組み、観光を含む地域振興の取り組みなどに対して、幅広い関心を有し、研究活動に必要な学力と資質を備える学生を求める。
入学選抜方針	入学者の選抜は、外国語（英語）の提出スコアならびに口述試験に基づき、世界遺産学に必要な、語学力、基礎的な専門知識、研究能力を総合的に評価する。

2. カリキュラム・マップ

(人間総合科学大学院 人間総合科学専攻 博士前期課程) Degree Programs in Comprehensive Human Sciences, Graduate School of Comprehensive Human Sciences (Master's Program)										汎用コンピテンシス Generic Competences					専門コンピテンシス Specific Competences				
科目 区分 Category	科目番号 Course Number	授業科目の名称 Course Name	標準修得 年次 Standard Registration Year	単位数 Credits		授業形態 Course Methods		1 知の 活用力 Knowledge application competence	2 マネージメント能力 Management competence	3 コミュニケーション能力 Communication competence	4 チームワーク力 Teamwork competence	5 国際性 Internationality competence	1 共通知の活用力 Ability to use shared knowledge	2 専門知の活用力 Ability to utilize specialized knowledge	3 共通技能の活用力 Ability to use common skills	4 専門技能の活用力 Ability to utilize expertise	5 国際実戦力 International practical ability		
				必修 Required	選択 Elective	講義 Lectures	演習 Seminars											実験実習 Classroom Practical Training	
■世界遺産学学位プログラム (M) Master's Program in Heritage Studies																			
基礎科目 Foundation Subjects	OMT001	世界遺産論	World Heritage Studies	1-2	2														
	OMT002	世界遺産特別演習	Special Seminar on World Heritage Studies	1	3														
	OMT003	世界遺産特別研究	Special Research for World Heritage Studies	2	6														
	OMT004	文化遺産論	Cultural Heritage Theory and Policy Studies	1-2	1														
	OMT005	文化遺産管理	Seminar for Preservation of Cultural Heritage	1-2	2														
	OMT006	自然遺産論	Natural Heritage Studies	1-2	1														
	OMT007	自然遺産管理	Seminar on Natural Heritage	1-2	2														
	OMT008	複合遺産論	Intangible Heritage Studies	1-2	1														
	OMT009	複合遺産管理	Seminar on Intangible Heritage Studies	1-2	2														
	OMT010	世界遺産特別研究	Special Lecture on Heritage Studies	1-2	1														
	OMT011	世界遺産特別研究	Global Learning: Heritage, Creativity and Art	1-2	3														
	OMT012	世界遺産特別研究	Global Project: Designing Heritage Research	1-2	2														
	OMT013	世界遺産特別研究	Global Heritage Studies(国際遺産学)	1-2	1														
	OMT014	世界遺産特別研究	UNESCO and the World Heritage Convention (ユネスコと世界遺産)	1-2	1														
	OMT015	世界遺産特別研究	World Heritage and International Cooperation (世界遺産と国際協力)	1-2	1														
	OMT016	世界遺産特別研究	World Heritage and Civil Participation (世界遺産と市民参加)	1-2	1														
OMT017	世界遺産特別研究	World Heritage and Sustainability (世界遺産と持続可能性)	1-2	1															
OMT018	世界遺産特別研究	Role of International Organizations and NGOs (国際機関の役割)	1-2	1															
OMT019	世界遺産特別研究	International Conventions for Heritage Conservation(国際条約)	1-2	1															
OMT020	世界遺産特別研究	Project Practice in World Heritage (世界遺産実践)	1-2	2															
OMT021	世界遺産特別研究	Advanced Practice of Heritage Studies (市民参加型演習)	1-2	3															
OMT022	世界遺産特別研究	Architectural Heritage	1-2	1															
OMT023	世界遺産特別研究	Seminar on Architectural Heritage	1-2	3															
OMT024	世界遺産特別研究	Art Heritage I	1-2	1															
OMT025	世界遺産特別研究	Art Heritage II	1-2	1															
OMT026	世界遺産特別研究	Seminar on Art Heritage	1-2	2															
OMT027	世界遺産特別研究	Conservation Science	1-2	1															
OMT028	世界遺産特別研究	Seminar on Conservation Science	1-2	2															
OMT029	世界遺産特別研究	Project Development and Management of Heritage Sites	1-2	1															
OMT030	世界遺産特別研究	Seminar on Project Development and Management of Heritage Sites	1-2	2															
OMT031	世界遺産特別研究	Conservation of Cultural Landscape	1-2	1															
OMT032	世界遺産特別研究	Heritage Tourism	1-2	1															
OMT033	世界遺産特別研究	Seminar for Resource Use Planning	1-2	3															
OMT034	世界遺産特別研究	Heritage Interpretation	1-2	1															

* 「必修」は学位プログラムとしての必修を意味する。 「Required」 indicates required for each degree program.

世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）

3. 例言

この履修ガイドは人間総合科学学術院人間総合科学研究群世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）の2023年度の授業の概要を示したものです。履修ガイドとKdb（シラバス）をよく読み、履修計画を立ててください。Kdb（シラバス）の内容は変更する場合がありますので注意してください。

4. 履修方法

【履修方法・修了要件】

科目区分	科目群	条件又は科目名等		修得単位数
基礎科目 / General Foundation Subjects	必修科目 / Required	世界遺産論（2単位）	World Heritage Studies	12
		世界遺産特別演習（3単位）	Special Seminar on World Heritage Studies	
		世界遺産特別研究（6単位）	Special Research for World Heritage Studies	
		研究倫理（1単位）	e.g. Introduction to Academic Integrity	
専門科目 / Major Subjects	選択科目 / Core Electives	世界遺産学関連科目から18単位以上履修すること（「世界遺産を科学する」等、大学院共通専門基盤を含む）	At least 19 credits from courses related to Heritage Studies will be required	18
修了単位数				30

（修了要件）

2年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

※他学術院、他学位プログラム（自然保護サーティフィケートプログラムの科目を含む）、学群の科目は、研究上の必要に応じて、指導教員と学位プログラムリーダーの承認を得て、10単位を限度として修了要件の選択科目として認めることができる。

※世界遺産を科学するを含め、大学院共通科目・学術院専門基盤科目を履修することを推奨する。

5. コンピテンス達成度評価について

世界遺産学学位 P コンピテンス達成度評価簡易マニュアル

1. コンピテンス達成度評価の導入について

筑波大学では、2020 年 4 月に大学院の改組・再編を行い学位プログラム制導入に伴って、筑波大学大学院の学生が修了時に身につけるべき知識・能力等を「コンピテンス」として設定することとなりました。人間総合科学研究群に入学した博士前期課程、博士後期課程の学生も、学位取得までに学位プログラムが設定するコンピテンスの基準に到達する必要があります。

筑波大学大学院を修了した学生全員が身につけているのが「汎用コンピテンス」であり、博士前期課程と博士後期課程とでは若干異なりますが、それぞれ 5 つが設定されています。それ以外に、学位プログラムの定める「専門コンピテンス」があります。

2. コンピテンスの達成についての考え方

各学位プログラムの「カリキュラム・マップ」において、所属組織が開設している個々の授業科目、および授業科目以外の評価項目について、どのコンピテンスの項目の何単位分に相当するかという基準値を示しています。また研究群では、大学院共通科目や学術院共通専門基盤科目、研究群共通科目の基準値を示しています。修得した授業科目のそれぞれのコンピテンスの項目の基準値をすべて足し算した値が、学位プログラムの定める達成度評価基準に到達していれば、その項目のコンピテンスは修得できた、ということになります。

コンピテンスは、おおむね、修了要件を満たせば達成できるようにしていますが、修了要件を満たすだけでは達成できない場合もありますので、注意してください。また修了要件以外の科目の履修や、学会活動、フィールド調査、インターンシップなどによっても、コンピテンス達成に必要な単位数の一部に相当するものと認定されることがあります。

したがって自分が、コンピテンスをどの程度まで達成しているのか、1 年ごとに「カリキュラム・マップ」に示されている基準値を計算して自己評価し、それをもとに指導教員と綿密に相談して、必要に応じて履修計画を変更し、学位論文提出時には学位プログラムで定めている達成度評価基準を満たしているようにしてください。

3. コンピテンス達成度評価の方法

1) 評価時期

- ・ 博士前期課程の場合
 - 1 年次 2 月（世界遺産特別演習修論進捗発表会時）
 - 2 年次 10 月（中間発表時）、12 月（修士論文提出時）
- ・ 博士後期課程の場合

1 年次 2 月（年度末）

2 年次 9 月（中間発表時）

3 年次 予備審査時

- ・休学をした学期については記入不要です。「学期末」「学年末」は適宜、書き換えてください。

2) 評価方法

- ①博士前期課程に関しては提出 1 カ月前に **Manaba** を通じてカリキュラム担当委員（池田）が自己評価を学生に依頼する。博士後期課程に関しては指導教員から学生に依頼する。
- ②学生自身が、カリキュラム・マップを参照して「達成度評価シート」に記入し、コンピテンスの達成状況を確認する。
- ③学生は「達成度評価シート」を指導教員に提出する。指導教員は、学生のコンピテンスの達成状況を確認し、コンピテンスの達成度を判定する。不足がある場合は指導教員と話し合って履修計画を変更する。
- ④達成度評価を踏まえ、次学期の科目の履修を決める。
- ⑤指導教員がコンピテンズ評価表をもとに、学生の最終的な達成度を評価し、UTOS を利用し学位プログラムリーダーに提出する。
- ⑥修士 2 年次、博士 3 年次の論文審査委員会は、達成度評価結果と口頭試問をもとに最終試験を行い、可否を判定する。
- ⑦「達成度評価シート」は、保管し、次の達成度評価のときに書き加えていく。
- ⑧その他
 - ・早期修了予定者は、学位論文提出資格の認定時にコンピテンズ達成基準を満たしている必要があります。
 - ・今後、学位プログラムで論文博士を取得する場合にも、学位プログラムのコンピテンズ達成度評価基準に到達することが必要になります。

2022 年 3 月 9 日
人間総合科学研究群長

達成度評価（コンピテンス評価）の実施手順について

人間総合科学研究群における達成度評価（コンピテンス評価）の実施手順については、以下のとおりとする。

なお、早期修了プログラム学生および早期修了を適用するに相応しいと思慮される学生については、修了時の達成度が標準修了学生と同等であることを条件とする。

1. 達成度評価の概要

- 1) 修了のためには、汎用／学位プログラムの両コンピテンスを充たす必要があることから、達成度評価は「汎用コンピテンス」と「学位プログラムコンピテンス（専門コンピテンス）」により計る。
- 2) 達成度評価は、学則に定められた修了要件の最終試験の前提として学位プログラムにおいて実施するものとする。
- 3) 学位プログラムは、達成度評価の意味、実施方法、実施時期などについて、あらかじめ学生に周知し、学生の履修の段階に合わせて適切に実施することとする。
- 4) 達成度評価のために学生の自己評価を元にしたコンピテンスの獲得状況を評価するものとし、このための手続きをコンピテンス評価とする。

2. 達成度評価の時期

- 1) 1 年に 1 回以上行うことを標準とし、修了までに 2 回以上実施するものとする。

3. 達成度評価の実施手順

- 1) 学位プログラムは学位プログラムが定めたカリキュラムマップをもとにして当該学位プログラムの専門コンピテンスと対応する主な学修との対応関係が明示されているコンピテンス評価表を作成する。
- 2) 学生は学位プログラムが定めた時期に、学位プログラムが定めたコンピテンス評価方法に基づいて自己評価を行い、学位プログラムが定めた提出先に提出する。
- 3) 学位プログラムが定めた委員会等がコンピテンス評価表をもとに、学生の達成度を評価し、学生に開示する。
- 4) 2) と 3) を修了時までに複数回行い、学生の授業の履修計画や学会発表・TA 等の

主な学修の経験を積むための計画の参考とする。

- 5) 学生は、学位論文申請までの定められた時期に、最終的な達成度に係る自己評価を行い学位プログラムが定めた提出先に提出する。学位プログラムが定めた委員会等がコンピテンス評価表をもとに、学生の最終的な達成度を評価し、学位プログラムリーダーに提出する。
- 6) 学位プログラムリーダーは、学生がすべてのコンピテンス獲得の基準を充たしていることを確認し、達成度評価結果として論文審査委員会に報告する。
- 7) 論文審査委員会は、達成度評価結果と口頭試問をもとに最終試験を行い、可否を判定する。
- 8) 研究群運営委員会は学位プログラムリーダーから提出された論文審査等報告書を閲覧し認定する。

以上

コンピテンス評価表（世界遺産学学位プログラム・博士前期課程）

学籍番号 202021***

氏名 ****

科目名	汎用コンピテンス					専門コンピテンス					コンピテンス 科目別合計
	知の 活用力	マネジ メント 能力	コミュニ ケーシ ョン 能力	チー ムワ ーク カ	国際 性	共通 知の 活用力	専門 知の 活用力	共通 技能 の活 用力	専門 技能 の活 用力	国際 実践 力	
学位プログラム開設科目											
											0
											0
											0
											0
											0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術院共通専門基盤科目											
											0
											0
											0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学院共通科目											
											0
											0
											0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他学位P開設科目											
											0
											0
											0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
授業科目以外の評価項目											
											0
											0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
達成基準(仮)	17	6	17	6	6	17	17	17	17	6	126
達成状況	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

6. 履修申請の注意事項

(1) 手続き

- (2) 履修申請手続きは、履修申請登録期間中に TWINS から行ってください。
- (3) シラバスは Kdb(<https://kdb.tsukuba.ac.jp/>)で公開していますので履修する授業の内容を確認してください。
- (4) 集中講義のうち実施予定日、講師名が未定の講義は KdB に表示されないことがあります。
実施予定日、講師名が発表された時点で、改めて履修申請登録期間が設定されますので、告知された登録期間中に申請を行ってください。期間中に登録できなかった場合は下記の追加履修申請書を提出の上、履修してください。
- (5) 履修申請を忘れた場合は TWINS の「履修申請変更」から追加履修申請書を出し、授業担当教員、指導教員の2名の署名捺印後、体育芸術エリア支援室の大学院教務担当窓口へ提出してください。（P.44 参照：履修申請）

(2) 連絡および休学手続き等

- (3) 必要なお知らせは TWINS、メール、および共同研究棟 A・2 階の掲示コーナー（共同研究棟 A2 階 207 号室入口付近）に掲示しますので必ず確認してください。
- (4) 授業に関する知らせは manaba 経由でメールの連絡があります。必ずリンク先の manaba を開いて確認してください。
- (5) 履修、休学など教務に関する手続きは体育芸術エリア支援室大学院教務に問い合わせてください。（P.48 参照：大学院便覧）

(3) 手続きの場所について

- ・ 世界遺産学学位プログラム事務室では履修・単位に関する問い合わせは対応いたしません。体育芸術エリア支援室 大学院教務（5C 棟）までお問い合わせください。
- ・ 世界遺産学学位プログラム事務室は自然保護寄附講座の事務局としても使用していますので間違えないようにしてください。
- ・ 不在時の連絡先： office@heritage.tsukuba.ac.jp

※その他、申請手続きに関する詳細は、P.44～確認してください。

(4) 履修方法に係る履修届

〔履修方法〕

他学術院、他学位プログラム（自然保護サーティフィケートプログラムの科目を含む）、学群の科目は、研究上の必要に応じて、指導教員と学位プログラムリーダーの承認を得て、10単位を限度として修了要件の選択科目として認めることができる。

〔提出方法〕

- ・ 春学期と秋学期に申請期間があります。
- ・ メーリングリストで申請用紙（Word）と提出方法のお知らせがあるので必ず確認してください。
- ・ 申請書を作成・印刷し、指導教員の印を得て、締切日までに体育芸術エリア支援室大学院教務窓口まで提出してください。

令和5年度 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

世界遺産学学位プログラム 履修方法に係わる履修届

博士前期課程 世界遺産学学位プログラムリーダー殿

博士前期課程 世界遺産学学位プログラム 年

学 籍 番 号 _____

氏 名 _____

私は、人間総合科学学術院 博士前期課程 世界遺産学学位プログラム履修方法に係る科目として、今年度下記の科目の履修を申請いたしますので、これらの科目の単位を修得した場合には規定に沿って選択科目への振替をご承認願います。

記

開設組織名 (学群・学術院)	科 目 番 号	科 目 名	単 位 数
合計単位数			単位
指導教員 氏名 _____ 印 _____			

- ※（１）申請締切（令和5年5月28日（金）17時／秋学期は10月予定）厳守のこと。
（２）履修申請を行わなかった場合は無効となるので、TWINSにおいて期間内に履修申請を行うこと。

7. 授業一覧

必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATV001	世界遺産論	1	2.0	1・2	春AB	水2, 3	人社B218	池田 真利子 黒田 乃生 飯田 義彦 伊藤 弘 上北 恭史 下田 一太 滝沢 誠 野中 勝利 松井 圭介 松井 敏也 八木 春生 吉田 正人	この科目は、世界遺産学学位プログラム博士前期課程1年次の必修科目である。世界遺産学学位プログラム教員の研究の紹介のほか、学生の研究発表等を予定する。国際遺産学・遺産の評価と保存・マネジメントとプランニング分野に分かれて議論を行い、研究に必要な基本的視点を確立する。また、最新の遺産保護・活用事例に関する研究・報告やサイトへの実際の見学を通じて、最先端の研究に触れる。履修生は、最終の2週において、研究対象となりうるテーマについて発表することを求められる。	英語運用能力が必要な場合もある。（日本語話者向け） 対面、オンライン(同時双方向型) 希望者はオンライン受講可能
OATV002	世界遺産特別演習	2	3.0	1	通年	随時		池田 真利子 黒田 乃生 飯田 義彦 伊藤 弘 上北 恭史 下田 一太 松井 敏也 八木 春生 吉田 正人	この科目は、世界遺産学学位プログラム博士前期課程1年次の必修科目である。本科目の演習時間数は、研究室ゼミの参加と、毎年度2月頭に実施する「修士論文進捗発表会」での発表・質疑応答に該当する。配属された各研究室ゼミでの専門書、先行研究の論文講読や合宿、研究発表等を行うことが求められる。これらの参加により、研究テーマや手法を決める。また、論文講読を通じて、学術調査や論文執筆の基礎的スキルを身につける。履修生は、年2回、演習の最後に、自らの修士研究テーマについて発表することを求められる。	対面、オンライン(同時双方向型) 英語運用能力が求められる。（日本語話者向け）
OATV003	世界遺産特別研究	2	6.0	2	通年	随時		池田 真利子 黒田 乃生 飯田 義彦 伊藤 弘 上北 恭史 下田 一太 松井 敏也 八木 春生 吉田 正人	この科目は、世界遺産学学位プログラム博士前期課程2年次の必修科目である。（1年次の履修は不可である） 修士2年次には、指導教員等から修士論文の研究についてゼミ等で定期的に学術指導を受け、ゼミ発表や修士論文中間発表を経て、修士論文作成と12月の提出を行い、最終試験において審査を受けることが求められる。なお、論文担当委員（2022年～2023年度：下田一太先生）の指示をよく聞くこと。	対面、オンライン(同時双方向型) 英語運用能力が求められる場合がある。（日本語話者向け）

選択科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATV101	文化遺産論	1	1.0	1・2	秋AB	木2	人社B218	下田 一太	文化遺産の保護について、遺産の概念、保護の理念、日本及び諸外国の保護制度の概要、さらにそれらの現在に至る歴史的経緯の理解を通して、現代社会における役割、その現状と今後について考察する。履修する大学院生は、文化遺産保護の理念と制度を理解するだけではなく、現代社会における文化財保護についてのディスカッションに参加し、意見を述べるができるようになることが求められる。	対面(オンライン併用型)
OATV102	文化遺産演習	2	2.0	1・2	春C夏季休業中	集中		黒田 乃生	本演習は世界文化遺産の保護の現状について体験を通じて学ぶことにある。1995年に世界遺産リストに登録された「白川郷五箇山の合掌造り集落」およびその周辺集落において維持管理活動の体験および実際に文化遺産がある地域で生活する関係者、文化財保護の担当者、まちづくりの団体との交流や聞き取りを通して、世界遺産保護の手法を学び、意義および課題について考察する。現地実習の前には現地について学ぶ課題を提出し、実習後には演習で体得した文化遺産保護の課題についてレポートを提出させる。	対面
OATV103	自然遺産論	1	1.0	1・2	春A	木1, 2	人社B218	吉田 正人	自然遺産保全の基礎となる自然保護、生物多様性保全を学ぶとともに、自然遺産と関連する保護地域制度と自然遺産との関連性についても考究する。とりわけ、世界自然遺産の登録基準、世界自然遺産のセーフティネットとしての危機遺産リスト、外来種や気候変動のモニタリング、保護地域のネットワークと国境を超えた世界遺産などの事例を考察する。	01AH410と同一。
OATV104	自然遺産演習	2	2.0	1・2	夏季休業中	集中		吉田 正人	自然遺産地域における現地調査を通じて、自然遺産地域の保全と管理、およびそれに対する地域住民や専門家の参加について学ぶ。自然遺産地域の管理計画、科学委員会・地域連絡会議を通じた専門家、地方自治体、地域住民、NPOなどの役割分担と協働、外来種対策やエコツーリズムなどの事例を現地調査から学ぶ。	
OATV105	宗教論	1	1.0	1・2	秋AB 秋C	集中	人社B218	松井 圭介	近年、注目を集めるようになってきている世界における宗教とツーリズムとの関係をめぐる研究動向を紹介しながら、日本の世界遺産を事例に両者の関係を整理・検討する。とりわけ、世界文化遺産に登録された紀伊山地熊野古道、長崎・豊仙の潜伏キリシタン関連遺産などの事例をもとに、宗教遺産が観光資源として対象化される過程やその問題点を考える。本年度は、現地視察を実施し、上記に関する実践的な理解を深めることを主目的とする。	

OATV106	無形遺産論	1	1.0	1・2	秋C	集中	人社 B218	池田 真利子	日常生活に必須の「着」の無形遺産に関する多様な研究視点に触れ、無形遺産への理解を深めるとともに、無形遺産が持つ文化・経済・社会的価値について考究する。なお、2023年度は結城紬の研究に取り組まれていた湯澤規子先生（法政大学）を講師にお招きし、2024年1月22日～1月31日（予定）の間の3日間、集中講義の形式で実施予定である。 実施スケジュール： 1日目（後日日程報告）講義 無形文化遺産から考える在来的経済発展論 2日目（後日日程報告）講義 無形文化遺産の新展開としての「食文化」 3日目（後日日程報告）フィールドトリップ（結城紬の見学と体験） 参考）2022年度「無形遺産論」 『越境するファッション・スタディーズ』（ナカニシヤ出版）より、高木陽子・松本健太郎・本橋弥生・沢辺満智子・高馬京子先生の5名の先生をお招きし、当該書籍の内容のほか、特にファッションに関係して講演いただきました。	日本語運用能力があることが望ましい。 対面（オンライン併用型）、オンライン（同時双方向型）
OATV107	遺産保護行政論	1	1.0	1・2	秋AB	集中		下田 一太	日本の遺産保護に関わる政策、行政システムについて理解し、日本の遺産保護制度の体系や保護の方法について理解する。文化庁の遺産保護担当者から、直接、遺産保護に関わる法制度、行政のシステムに加えて、具体的な遺産保護の事例についてその経験を伺い、日本の遺産保護行政の成果と課題について学ぶ。	非常勤講師 実務経験教員、オンライン（同時双方向型）
OATV109	世界遺産学インターンシップ	3	3.0	1・2	通年	応談		池田 真利子 黒田 乃生 飯田 義彦 伊藤 弘 上北 恭史 下田 一太 松井 敏也 八木 春生 吉田 正人	遺産の保存・活用に関わる行政機関・法人やサイト等において実地研修を行ない、現場でのノウハウを学ぶこと等が求められる。インターンシップ先の代表的なものには、世界遺産保全に関する行政機関・コンサルティング、研究所、テレビ局、博物館・美術館などがある。研修先の選択にあたっては、修士論文研究の主題との関連性に留意すること。研修機関からの評価を考慮して、インターンシップの成果を評価する。	英語運用能力が求められる場合がある。（日本語話者向け）
OATV110	Global Learning: Heritage, Creativity and Art（グローバルに学ぶヘリテージ、創造性とアート）	4	1.0	1・2	春C	火4,5	人社 B218	池田 真利子 上北 恭史 松井 敏也	本科目は、「Creativity and Art（創造性とアート）」をキーワードとし、ヘリテージ学に関わる文理横断的な学術・学際的研究視点を日本語と外国語で学ぶことにある。そこで、「Designing Heritage Research」のテーマと関連付け、各年の学生／教員の関心や時流に合ったテーマを設定し、当該テーマに関する研究視点や事例、モデル等を学生と議論しながら解説する。 なお2023年度は、ヘリテージ学の「活用」に焦点を当て、地理学（地域空間変容・都市文化・地域フィールド調査）・建築デザイン学（材料・構造・デザイン史・フィールド科学）・保存科学（行政協働・問題解決型科学・科学的調査手法）を中核とし、上述の学域以外の研究者ら（メディア学・建築学・デザイン学等）も交えて、概念・理論から実践的事例まで幅広く紹介し、議論を行う。	対面、対面（オンライン併用型）、 オンライン（同時双方向型）
OATV111	Global Project: Designing Heritage Research（グローバルに考究するヘリテージ研究デザイン）	7	2.0	1・2	夏季休業 中 秋ABC	集中		池田 真利子 上北 恭史 松井 敏也	本科目のねらいは、「Creativity and Art（創造性とアート）」で学んだ研究視点や各年設定のテーマに関連し、その研究方法やデータ取得方法を大学／現地フィールドで具体的かつ実践的に学ぶことである。学生は地域調査の基礎を学ぶだけでなく、自ら主体的にフィールド調査に取り組む経験を得ることができる。また、「Global」「Creativity and Art（創造性とアート）」と連携させることにより、国際的な学術議論を無理なく考えに取り組むことができる。 なお2022年度は、ヘリテージ学の「活用」に焦点を当て、地理学（地域空間変容・都市文化・地域フィールド調査）・建築デザイン学（材料・構造・デザイン史・フィールド科学）・保存科学（行政協働・問題解決型科学・科学的調査手法）を中核とし、フレキシブルなチーム（研究・情報メディア記録・提案）に分かれ、地域貢献における発展性を意識した学術的成果へと繋げる。 本科目では、専用のタブレット端末・録画機器を最大限活用したグループ学習を行います。	一定の基準を設け、履修生数を限定する場合がある。【教学マネジメント室支援科目】 オンライン（同時双方向型）および対面の併用：「プロジェクトルーム（共同研究棟A212）」および筑波大学学内未活用施設でのオンライン併用型演習・作業（オンラインの場合には、Microsoft TEAMS/STREAMを使用）。および学外演習（東京都・茨城県や市区行政、東京都荒川区・台東区および茨城県つくば市近郊の未活用遺産サイト等） 英語で授業。
OATV201	Global Heritage Studies（国際遺産論）	1	1.0	1・2	秋A	集中	人社 B218		歴史、哲学、公共政策など現代社会における遺産保護を総体的にとらえて講述する。世界遺産条約などの国際的な条約から各国の保護政策まで取り上げる。	

OATV202	UNESCO and the World Heritage Convention (ユネスコと世界遺産条約)	1	1.0	1・2	秋A	集中	上北 恭史 飯田 義彦 池田 真利子	As the most influential instrument in the international heritage field, the UNESCO World Heritage Convention has been providing an important instructive framework to the member countries, from actual protection and conservation of individual heritage sites to the development of national heritage policies and administrations of countries. Encompassing history, philosophy and operational schemes, the lecture provides an overall picture of the international discussions developed in and around the World Heritage Convention.	非常勤講師：稲葉信子
OATV203	World Heritage and International Cooperation (世界遺産と国際協力)	1	1.0	1・2	春BC	集中	飯田 義彦 吉田 正人 池田 真利子	世界文化遺産・世界自然遺産に関わる国際協力の事例をもとに、文化遺産・自然遺産の保全に関わる国際的枠組みの成果と課題を学ぶ。合わせて、日本の国際協力に関する枠組みについても取り上げる。	非常勤講師：長岡正哲（ユネスコ） 外部講師：長谷川基裕（JICA） 英語で授業。
OATV204	World Heritage and Civil Participation (世界遺産と市民参加)	1	1.0	1・2	秋AB	火5	池田 真利子	本講義では、1現在の世界遺産が直面する課題を的確に知り、2その背景にある地域の実情を多角的かつ分野横断的にみること、さらに3世界遺産の維持のために必要不可欠とされている市民参加の在り方を、世界遺産に限定せず、広くヨーロッパの遺産保存の在り方から探ること、4世界遺産の多様化、5EUにおける最新の文化遺産を巡る動向を理解することを通じて、世界遺産における市民参加がどのようにして実現され得るのかを考えることを目標とする。	対面 オンライン(同時双方向型)
OATV205	World Heritage and Sustainability (世界遺産と持続可能性)	1	1.0	1・2	秋C	集中	飯田 義彦	持続可能性概念について様々な保全制度と地域実践事例から学ぶ。自然と文化の遺産管理において、持続可能性概念や国連の持続可能な開発目標(SDGs)をいかに結びつけて社会実装を進めるか。その上で、持続可能な社会づくりに向けたグローバルとローカルの協働のあり方と将来方策についての自身の考えを深める。	英語で授業。
OATV206	Role of International Organizations and NGOs (国際機関の役割)	1	1.0	1・2	秋C	集中	池田 真利子、 吉田 正人、飯田 義彦	Students of Master and Doctoral degree programs will learn, how heritage and identity-related in the modern "global world", by knowing the recent national, regional, and local context, not only in Western European countries (such as Germany or Italy) but also in Eastern European countries (such as in former Eastern Germany) as well as in the global South (such as India). In the field of heritage preservation, practices rooted in civic engagement had much dedicated due to specific regional and political contexts, especially since the 1980s. Although, pragmatic academic discourses tend to ignore the national or regional context and conflicts emerged along with "Heritization(遺産化, isan-ka)" or "Institutionalisation(組織化, soshiki-ka)". This lecture will be assisted by Prof. Dr. Leo Schmidt, who has over thirty years developed the discipline of heritage studies base on practical, theoretical as well as academic views, to extend the further academic discussions online.	▼1/18 (水) 15:00-17:00 Prof. Dr. Leo Schmidt "The Berlin Wall (Die Mauer)" Today: Significance and Management ▼1/25 (水) 15:00-17:00 Prof. Dr. Alexandra Skedzuhn "Museum Island (Museumsinsel)" of Berlin ▼2/1 (水) 15:00-17:00 Prof. Dr. Leo Schmidt "Berlin Place (Berliner Schloss)" ▼2/6 (月) 15:00-17:00 Jens Casper Depl. -Ing. Architekt "Counterpreservation and Boros Sammlung: Knowledge and Practice" ▼2/13 (月) 15:00-17:00 Prof. Dr. Alexandra Skedzuhn-Safir and Nicole Franceschini "Marginalisation and Heritages, Tatoo Taboo" (Marginalisation, Heritage, Mapping, Spatial History /UK) 英語で授業。 対面 オンライン(同時双方向型)
OATV207	International Conventions for Heritage Conservation (国際条約論)	1	1.0	1・2	春B	集中	吉田 正人 飯田 義彦 池田 真利子	この授業では、地球環境の保全、遺産の保護と開発に関する国際条約と、世界中の様々な国々の事例研究を通じて、急速に変化する社会において、どのように遺産と共存し、環境を保全するとともに、持続的な社会を実現するかを学ぶ。	非常勤講師：堀江正彦、外部講師：鈴木渉 英語で授業。
OATV208	Project Practice in World Heritage (世界遺産演習)	2	2.0	1・2	春C	集中	飯田 義彦 吉田 正人	国内外におけるフィールド実習を通じて、遺産保護と持続可能な開発のバランスを取るための方策について、現地の関係者の取組や国際的な視点の双方から学ぶ。	現地実習（石川県白山市） 英語で授業。

OATV209	Advanced Practice of Heritage Studies (市民参加研究演習)	7	3.0	1・2	秋C春季休業中	集中	人社B216	池田 真利子	本演習は「World Heritage and Civil Participation(世界遺産と市民参加)」で学んだ国内外の学術的視点や知識に基づき、海外（主としてドイツ等の西ヨーロッパ）や国内のフィールドを実際に訪れ、より実践的に研究方法を習得することを目的とする。本科目のねらいは、OATV204「World Heritage and Civil Participation(世界遺産と市民参加)」で学んだ研究視点や各年設定のテーマに関連し、その研究方法やデータ取得方法を大学／現地フィールドで具体的かつ実践的に学ぶことである。学生は地域調査の基礎を学ぶだけでなく、自ら主体的にフィールド調査に取り組む経験を得ることができる。また、海外フィールド調査において、「自分が知りたいこと」の情報を得るため、英語やその他の国の言語能力を使用することで、国際的な学術議論を無難に行うことができるようになる。 なお2021年度は初年度であり、かつコロナの状況により、海外フィールド調査が困難な場合、グループで日本国内およびオンライン調査を行う予定である。なお本科目では、専用のタブレット端末・録画機器を最大限活用したグループ学習を行います。	英語で授業。 対面、オンライン(同時双方向型)
OATV301	建築遺産論	1	1.0	1・2	春AB	木3	人社B218	下田 一太	多様な歴史的背景や環境条件、意匠の特徴や利用可能な材料の特性に根差した建築遺産の理解、分析、調査、記述の方法と視覚化、評価の方法を学び、そうした歴史的建造物の意義や価値を保存・継承するための修理や復元の理念と技術、それらを伝達するための整備や再生の幅広い手法や技術について、国内外の世界文化遺産を含む建築遺産を事例として理解する。授業を通じて、各自が関心を有する建築遺産に対して、必要とされる調査を実践的に適用するための知識を習得し、保存や活用のための具体的な提案ができるようになることを到達目標とする。	対面(オンライン併用型)
OATV302	建築遺産演習	2	3.0	1・2	通年	集中		下田 一太	建築遺産や周辺環境、建築と人との関係性を測量、記録し、図面化する手法について実践を通じて学ぶ。また、それらの記録や各種表現を、建築遺産やその地域の保存や活用のために利用し、提案を関係者に共有し議論する一連の過程を経験する。それらの過程において、建築遺産の研究や修復、活用における幅広い課題を理解し、建築の構造や意匠、技法の特質、建築空間の利用方法等を調査・分析する能力を養う。多様な専門的知識や技術を横断的に連携し、取り組む必要のある建築遺産の保存と活用の体験を通じて、多様な関係者と協働し、建築遺産の保護と活用に寄与することができるようにする。	学外の建築遺産にて対面で実施 対面
OATV303	美術遺産論I	1	1.0	1・2	春AB	火3	人社B218	八木 春生	講義形式(学内)。中国で世界遺産に認定された雲岡石窟や龍門石窟、また敦煌莫高窟などを対象とする。この授業では、その中でも北魏時代(439年から534年)に開かれた石窟を取り上げる。窟形式や造像の様式、形式、また文様などの要素を様々な角度から分析し、それを総合的に考察することで評価を行う。それぞれの石窟がいかなる目的のために、またいかなる人々のために開かれたか、そのためにいかなる工夫がなされたかを明らかにする。そしてこの作業から抽出される、それぞれの石窟の特殊性に基づき、それに適した石窟の保存を考える能力を養成する。これにより、中国北魏時代の代表的な石窟に関する基礎的な知識を有し、その評価を基盤として活用など保護の方法を自らの研究と関連してできるようになる。	対面、オンライン(オンデマンド型)
OATV304	美術遺産論II	1	1.0	1・2	秋AB	火3	人社B218	八木 春生	講義形式(学内)。中国で世界遺産に認定された敦煌莫高窟、龍門石窟などの、唐時代前期(618年から655年)に開かれた石窟を取り上げる。窟形式や造像の様式、形式、また文様などの要素を様々な角度から分析し、それを総合的に考察することで、これらの石窟の評価を行う。敦煌莫高窟唐前期諸窟や、龍門石窟唐前期諸窟のほとんどは、北魏時代に国家により開かれた雲岡石窟と異なり、民間による造営である。浄土教が流行したこの時期に、人々がいかなる目的を持って造営し、またそれらの人々の要求を満足させるためにどのような工夫がなされたかを考察する。そしてこの作業から抽出される、それぞれの石窟の特殊性に基づき、それに適した石窟の保存を考える能力を養成する。これにより、唐時代前期の代表的な石窟に関する基礎的な知識を有し、その評価を基盤として活用など保護の方法を自らの研究と関連してできるようになる。	対面、オンライン(オンデマンド型)

0ATV305	美術遺産演習	2	2.0	1・2	秋A	集中		八木 春生	演習(学外)。大阪市立美術館や東京国立博物館など、中国の仏教造像や陶磁器などを多く所蔵する美術館・博物館で、学芸員から説明を受けながら、作品を様々な角度から観察することを経験する。それにより、斜め上、あるいは下方、また側面からでは、正面から見たのとは異なる印象を持つことを体感し、写真ではなく実物を見ることの重要性を理解できるようになる。また作品の基本的な取り扱い方を学び、実際に作品に触れることで、目でみるだけでは理解できない情報を作品から得る方法を習得する。このような経験から、それらの作品を作った工人たちが、どのような角度で見られることや手取りを意識していたかを考えられるようになる。そして美術作品の時代性だけでなく、工人達の意図をより正しく理解できるようにする。	対面
0ATV306	保存科学概論	1	1.0	1・2	春C	木4,5	人社B218	松井 敏也	保存科学の沿革・保存科学技術のあり方・研究方法を論じ、保存修復事例をもとに文化財を取り巻く保存環境・劣化現象の解明、その保存対策の手法について解説する。それにより、遺産や美術品の劣化や損傷に対し、その診断手法の確立、ならびに診断結果に対する総合的評価を立地環境と担当者らのスキルなどと併せて考慮する視野を構築することを目指す。実践的処置技術については今後の社会及び環境変動を見据えた課題の抽出とその解決法を科学的に行う能力を習得する。	対面・オンライン(オンデマンド型)
0ATV307	保存科学演習	2	2.0	1・2	春C夏季休業中	集中		松井 敏也	保存対象の活用状況や管理状態、地域の関わり方の調査から得られる課題を整理し、対象文化財の保存科学的調査を実施する。保存科学研究の基本である、材質分析・構造調査・保存環境の調査方法について、調査機器を用いた実地研修により習得させ、その分析、評価に関連分野の研究成果等と併せて総合的に考究させることを目指す。また世界遺産をはじめとする遺跡や博物館において、専門家による指導助言を受けながら現場レベルの保存科学実務を学び、習得した技術や能力をさらに発展させる。	対面
0ATV401	遺産整備計画論	1	1.0	1・2	春A	月4,5	人社B218	上北 恭史	遺産の歴史的価値を評価し、遺産の保存手法、環境整備等について論じ、社会的保護制度や遺跡、建造物の保存手法、地域再生事業などの活用計画について考究する。教育の目標として、文化遺産を中心に、保護制度と遺産価値の理解を通して適切な保護の方法と利活用の手法について計画し、事業を遂行するための基本的考え方を学ぶ。授業の到達目標として、遺産保護制度の法令の理解および保護計画事例を把握し、遺産の持つ歴史的・社会的価値を評価する能力、需要に適した活用方法の提案ができる能力を身につける。また遺産の復元の問題や国際協力事例について事例を基に議論し、遺産を活かした地域再生について対応できる人材の育成を重視する。	対面・オンライン(同時双方向型)
0ATV402	遺産整備計画演習	2	2.0	1・2	春AB	集中		上北 恭史	遺跡や歴史保存地区などで実施されている遺産保護・活用事例に触れ、保存事業や地域再生、観光事業について考察を行い、遺産の保護と活用計画の立案について習得する。授業目標として、遺跡や歴史保存地区で行われている保存活動の実例について学び、保存や再生、活用方法について詳しく考察を行う。さらに遺産整備計画を立案できる能力をつける。到達目標として、遺産保存の実例に触れ、法律、条例、保存計画書の保存制度を手がかりに遺産保護の具体的手法について分析できるか確認する。また保護されている遺産の状況を分析し、保護における問題点や利用の手法を提案できる能力をレポート等で確認する。	
0ATV403	文化的景観論	1	1.0	1・2	春AB	火4	人社B218	黒田 乃生	遺産としては比較的新しい概念である文化的景観について、景観の概念の変遷、世界遺産における文化的景観をめぐる議論と現状、日本の文化財における文化的景観の定義と保護、景観と社会の関係などの基礎的な知識の習得に加え文化的景観の評価および保全に関する事例を紹介する。講義全体を通じて他の文化遺産と文化的景観の特徴の異同を考究するための緒を与える。保全や概念について国内外の相違を紹介し、履修生とのディスカッションを通じて文化的景観の曖昧さや保護の課題について自ら考えることができるようにする。	対面・オンライン(同時双方向型)
0ATV404	遺産観光論	1	1.0	1・2	秋AB	月4	人社B218	伊藤 弘	観光に関する用語や意義、歴史的かつ現状の課題および計画論等に関して概説を行うと同時に、観光の対象となる文化資源や自然環境について、世界遺産や指定文化財、自然公園など制度上の評価に捉われない評価の考え方を整理する。利用と保護が持続的に同時に求められる、自然および文化を活かし続ける観光のあり方や取り組み手法、それに基づく観光地整備の考え方について、具体的事例を取り上げながら、その効果と課題を踏まえて考察する。	対面・オンライン(同時双方向型)

OATV405	プランニング演習	2	3.0	1・2	春C夏季休業中秋AB	集中		伊藤 弘	自然および文化を、住民および来訪者がより深く理解できるように持続的な利活用方策に関して、特定の資源を対象に、広域的な周辺環境および対象資源について、課題の整理からテーマの設定、計画案の策定に至る一連の作業をグループワークを通して体験し、計画の考え方や作業の流れ、評価方法を理解する。また、毎回進捗報告会を実施することで、各自の考え方や主張を他者に分かりやすく伝えるプレゼンテーションのやり方と、計画案に関するディスカッションを体験する。	対面
OATV406	インタープリテーション概論	1	1.0	1・2	春季休業中	集中		吉田 正人	インタープリテーションおよびエコツーリズムの歴史・期待される効果・実施上の注意点や課題について理論的な概要を学習する。自然遺産および文化遺産の価値を利用者にどのように伝えるのか、その技術や伝えるべき対象の価値の捉え方について、実際の事例を体験することを通して考察する。教育目標は自然遺産・文化遺産の価値をとらえ、それを伝える技術を理解し、遺産の利活用と保全におけるインタープリター(エコツアーガイド)の果たす役割を理解することである。授業目標の到達目標は、インタープリテーション・プログラムを提案できるような能力を身につけることであり、その習得度はプレゼンテーションやレポート課題によって確認する。	非常勤講師：古瀬浩史 対面

【共通科目・共通専門基盤科目】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OA00103	研究倫理	4	1.0	1 - 5	春BC	随時		岡林 浩嗣 大須賀 壮	研究活動に従事する上で踏まえるべき研究倫理の基礎を、具体的事例を交えて講義する。研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスなどを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、科学技術政策、研究助成のしくみ、申請や審査のしくみなどについても触れる。 本科目は講義を主体としつつ、講義の間に演習(個別演習・グループ演習)を交互に挟む構成とする。講義においては、研究倫理と研究公正に関連する基本概念を整理すると共に、研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスに関わる問題などを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、学術研究活動をとりまく環境の変化や、科学研究費の申請や審査のしくみなどについても触れる。特に特定不正行為に関しては具体的事例を元にその原因や背景を解説し、受講者が研究活動を行う上で必要な対策について具体的に考える機会を与える。	オンライン(オンデマンド型)
OAS0306	世界遺産を科学する	1	1.0	1・2	秋AB	火2	人社B218	池田 真利子 黒田 乃生 飯田 義彦 伊藤 弘 上北 恭史 下田 一太 松井 敏也 八木 春生 吉田 正人	世界遺産保護における課題と解決方法を自然科学、人文社会科学の視点から講述する。美術史、政策、観光、保存科学、景観保護、自然保護など世界遺産を対象に多様な切り口から知識と総合的な視座を獲得する。同時に国内外の世界遺産における国際協力の事例と手法を学ぶ。	対面 希望者はオンライン受講可能

8. 時間割

■授業時間

第1時限	8:40	—	9:55
第2時限	10:10	—	11:25
第3時限	12:15	—	13:30
第4時限	13:45	—	15:00
第5時限	15:15	—	16:30
第6時限	16:45	—	18:00

■休業期間

春季休業	4月1日	—	4月4日
夏季休業	8月11日	—	9月30日
冬季休業	12月28日	—	1月4日
春季休業	2月17日	—	3月31日

■「随時」「応談」の科目等

必修科目（随時）

【1年次必修科目】

世界遺産特別演習（ゼミ・発表会）・・・・・・・・・・学位プログラム全教員

【2年次必修科目】

世界遺産特別研究（修士論文・発表会）・・・・・・・・・・学位プログラム全教員

選択科目（応談）

世界遺産学インターンシップ・・・・・・・・・・学位プログラム専任教員

春学期 4月13日～8月9日

【春A】(4月13日～5月22日)

	月	火	水	木	金
1				自然遺産論 吉田 B218 セミナー室(大)	(演習等)
2			世界遺産論 学位プログラム教員 B218 セミナー室(大)		
3		美術遺産論Ⅰ 八木 B218 セミナー室(大)		建築遺産論 下田 B218 セミナー室(大)	
4	遺産整備計画論 上北 B218 セミナー室(大)	文化的景観論 黒田 B218 セミナー室(大)			
5					

【春B】(5月24日～6月27日)

	月	火	水	木	金
1					(演習等)
2			世界遺産論 学位プログラム教員 B218 セミナー室(大)		
3		美術遺産論Ⅰ 八木 B218 セミナー室(大)		建築遺産論 下田 B218 セミナー室(大)	
4		文化的景観論 黒田 B218 セミナー室(大)			
5					

【春C】(7月5日～8月9日)

	月	火	水	木	金
1					(演習等)
2					
3					
4		Global Learning: Heritage, Creativity and Art (グローバル に学ぶヘリテー ジ, 創造性とアー ト) 池田・上北・松井他 B218 セミナー室(大) ハイブリット式 (MS Teams)		保存科学概論 松井 B218 セミナー室(大)	
5					

【春学期・夏季休業中 集中講義】（※春 C 7月5日～8月9日）

春 AB	遺産整備計画演習(上北)
春 B	(自然保護論(吉田)6月3-4日) * 自然保護寄附講座の科目
	International Conventions for Heritage Conservation (国際条約論) 吉田・飯田・池田 [外部講師: 堀江正彦氏, 鈴木渉氏] 6/9(金) 6/10(土) 6/11(日)
春 BC	World Heritage and International Cooperation (担当: 飯田) 6/30・7/11・7/18 [非常勤講師: 長岡正哲氏 外部講師: 長谷川基裕氏]
春 BC 随時	研究倫理(大学院共通科目)
春 C	Project Practice in World Heritage(世界遺産演習)(飯田)8月1日～7日
通年	建築遺産演習(下田)
春 C+夏季休業中	文化遺産演習(黒田)
夏季休業中	保存科学演習(松井)
	自然遺産演習(吉田)8月26日～8月31日
春 C+夏季休業中+ 秋 AB	プランニング演習(伊藤)
夏季休業中+秋 ABC	Global Project: Designing Heritage Research (グローバルの考究するヘリテージ研究デザイン)(池田・上北・松井)

秋学期 10月3日～2月14日

【秋A】(10月3日～11月8日)

	月	火	水	木	金
1					(演習等)
2		世界遺産を 科学する 学位プログラム教員 オンライン MS Teams		文化遺産論 下田 B218 セミナー室(大)	
3		美術遺産論Ⅱ 八木 5C402			
4	遺産観光論 伊藤 B218 セミナー室(大)				
5		World Heritage and Civil Participation 池田 B218 セミナー室(大)			

【秋B】(11月10日～12月20日)

	月	火	水	木	金
1					(演習等)
2		世界遺産を 科学する 学位プログラム教員 オンライン MS Teams		文化遺産論 下田 B218 セミナー室(大)	
3		美術遺産論Ⅱ 八木 5C402			
4	遺産観光論 伊藤 B218 セミナー室(大)				
5		World Heritage and Civil Participation 池田 B218 セミナー室(大)			

【秋C】(1月5日～2月14日)

	月	火	水	木	金
1					(演習等)
2					
3					
4			Role of International Organizations and NGOs (国際機関の役 割) 池田・飯田・吉田 B216		
5					

【秋学期・春季休業中 集中講義】

秋 A	UNESCO and the World Heritage Convention (ユネスコと世界遺産条約(稲葉信子)10月13-14日)
	美術遺産演習(八木)
秋 AB	遺産保護行政論(下田・非常勤講師)
秋 C	無形遺産論(法政大学・湯澤規子先生, 担当: 池田) ※1/22~31の間の3日間
	World Heritage and Sustainability(世界遺産と持続可能性)(飯田)
秋 ABC	宗教論(松井圭介)
	国際遺産論(Global Heritage Studies)
春季休業中	インタープリテーション概論

9. 学外の演習・集中講義等（●：学外）

(1) 世界遺産論 池田（TA：〇〇）

対面で実施しますがオンライン受講も可能です。

授業の方法を変更することがあります。その場合は事前に manaba 経由またはメーリングリストに連絡しますので確認してください。

月	日	曜日	内容	担当
4	6	水	教員自己紹介・演習ガイダンス	全員
	19	水	学生自己紹介①	全員
	26	水	学生自己紹介②	全員
5	1	月	休講	
	10	水	講義（セッション式）①	
	12	金	演習（東京駅周辺）	全員
	17	水	講義（セッション式）②	
	24	水	講義（セッション式）③	
	31	水	講義（セッション式）④／休講	
6	7	水	協力教員紹介	松井（圭）、野中、滝沢
	14	水	テーマ発表①	全員
	21	水	テーマ発表②	全員
	28	水	試験週（休講）	

(2) 遺産整備計画演習 上北（TA： ）

	日	時間	場所	担当	内容
	4月21日（金）	10：00～ 12：00	B218	上北	土浦古地図による探索説明
●	4月28日（金）	逐次連絡	土浦市	上北	土浦亀城地区見学
●	5月19日（金）	逐次連絡	つくば市	上北	筑波山麓小田城跡、平沢官衙遺跡
	5月26日（金）	逐次連絡	B218	大平茂男先生	歴史的建造物の活用の講義
●	6月2日（金）	逐次連絡	川越	大平茂男先生	川越重伝建地区における歴史的建造物の保存事例の見学
●	6月9日（金）	逐次連絡	佐原	上北	佐原重伝建地区における活用事例の見学

* 費用：交通費等

(3) 自然遺産演習 吉田（TF： ）

	日程	場所	費用 その他
●	8月26日(土)～31日(木)	小笠原諸島父島	交通費・宿泊費 約7万円

(4) 美術遺産演習 八木 (TA :)

	日程	場所	費用 その他
●	5 月 (未定)	東京国立博物館 静嘉堂文庫美術館、根津美術館	交通費

(5) 保存科学演習 松井 (TA :)

	日程	場所 (候補)	費用 その他
●	9 月	奈良	交通費・宿泊費

(6) プランニング演習 伊藤 (TA :)

	日	時間	場所	費用 その他
	7 月 28 日 (金)	13:00-	B218	ガイダンス
●	9 月中旬予定	(予定)	白川郷・五箇山	宿泊費・食費 (別途現地までの交通費)
	10 月 9 日(月) 10 月 23 日(月) 11 月 13 日(月) 11 月 27 日(月) 12 月 11 日(月) 12 月 25 日(月)	5 限以降	B218	-

(7) 文化遺産演習 黒田 (TA :)

	日程	場所	費用 その他
	7 月 4 日 (火) 4 限	B218	ガイダンス
●	未定 (決定次第連絡)	白川郷・五箇山	宿泊費・食費 約 3 万円 (現地までの交通費別)

*感染拡大の状況によって変更する可能性があります

(8) インタープリテーション概論 (TA :)

	日程	場所	費用 その他
●			

遺産保護行政論

鈴木地平（文化庁世界遺産室（TA： ））

	日程	場所	費用 その他
●	2日間（10月～12月に予定）	東京キャンパス	交通費・昼食代

(9) 建築遺産演習 下田（TA： ）

	日程	場所・内容	費用 その他
●	通年：特に6, 7月を中心として、日帰り（主に金か土曜日）にて実施	つくば近郊（土浦市）の古民家を対象として、その改修計画の提案を目的に建築と周辺地区の調査を行う。	交通費・昼食代

(10) Project Practice in World Heritage 飯田・池田・吉田（TA： ）

	日程	場所	費用 その他
●	8月1日(月)～8月7日(日)	白山国立公園，白山ユネスコエコパーク，白山手取川ジオパーク	交通費・宿泊費等

(11) Global Project: Designing Heritage Research

（グローバルに考究するヘリテージ研究デザイン）池田・上北・松井（TA: 1名）

	日程	場所	費用 その他
●	通年	東京都荒川区および台東区，茨城県内ほか	現地までの交通費

10. 全学・他学術院の開設科目について

大学院共通科目，および学術院共通専門基盤科目も積極的に受講して下さい。
各科目の授業概要，シラバスは KdB（教育課程編成支援システム）から閲覧できます。

【大学院開設科目一覧】

<https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses-g-tsukuba-tokyo/index.html>



【大学院共通科目・大学院共通専門基盤科目】

<https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses-kyoutsuukamoku/>



例：研究倫理（0A00103） 1 単位 春 BC 随時

例：人間総合科学基礎論（0AS0001） 1 単位 春 C 月 2・3 限

【大学院共通科目 / Graduate General Education Courses】

【大学院共通科目 / Graduate General Education Courses】			Master's Generic Competencies										Doctor's Generic Competencies							
科目区分 Course Category	科目番号 Course Number	授業科目の名称 Course Name	標準単修年次 Standard registration year	使用言語 Language	単位数 Credits					汎用コンピテンシス(修士レベル) Master's Generic Competencies					汎用コンピテンシス(博士レベル) Doctor's Generic Competencies					
					必修 Required	選択 Elective	自由 Free	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
生命・環境・研究倫理科目群 Life, Environment, Academic Integrity	応用倫理	Applied Ethics	1-2-3-4-5 英語	English	1				○	○	○									
		Introduction to Environmental Ethics	1-2-3-4-5 英語	English	1				○	○	○									
		Introduction to Academic Integrity	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	1				○	○	○									
		Bioethics in Medical Research and Practice	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	1				○	○	○									
		Ethics for Engineers in Business	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	1				○	○	○									
	テクニカルコミュニケーション	Technical Communication	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	1				○	○	○									
		Presentations for General Audiences	1-2-3-4-5 英語	English	1				○	○	○									
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	2				○	○	○									
		Global Communication Skills Training	1-2-3-4-5 英語	English	1				○	○	○									
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	1				○	○	○									
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	1				○	○	○									
		サイエンスコミュニケーション実践講座	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	2				○	○	○									
		人文コミュニケーション：人文社会科学と自然科学の壁を越える	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	1				○	○	○									
		総合資料学：歴史文化の高度化研究とその伝達方法	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	2				○	○	○									
		国際性養成科目群 Retaining Internationalized Characters	国際研究プロジェクト	China in 21 Century: Aspects of Contemporary China	1-2-3-4-5 中国語	Chinese	1				○									
International Research Project	1-2-3-4-5 英語			Japanese English	1				○	○	○									
International Internship	1-2-3-4-5 日本語			Japanese English	1				○	○	○									
Global Issues and Global Society: Food Security	1-2-3-4-5 英語			English	1				○	○	○									
Global Issues and Global Society: Marine Environmental Change and Life	1-2-3-4-5 英語			English	1				○	○	○									
Global Issues and Global Society: The Social Brain	1-2-3-4-5 英語			English	1				○	○	○									
Global Issues and Global Society: Infection, Health and Medical Issue	1-2-3-4-5 英語			English	1				○	○	○									
Global Issues and Global Society: Social Issues	1-2-3-4-5 英語			English	1				○	○	○									
Global Issues and Global Society: Environmental Pollution and Health Effects	1-2-3-4-5 英語			English	1				○	○	○									
Global Issues and Global Society: Environment and Energy	1-2-3-4-5 英語			English	1				○	○	○									
Japan's Position in a Constantly Evolving World	1-2-3-4-5 日本語			Japanese	1				○	○	○									
Market Design and Computational Science for Next-Generation Mobility	1-2-3-4-5 日本語			Japanese	1				○	○	○									
Diversity and SOGI-LGBT	1-2-3-4-5 日本語			Japanese	1				○	○	○									
Work-Life Mix: Social Change through Mo-House Initiative	1-2-3-4-5 日本語			Japanese	1				○	○	○									
Introductory Course for Teacher Training and Education of Life and Environmental Sciences	1-2-3-4-5 日本語			Japanese	1				○	○	○									
Advanced Accessibility Leadership	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	1				○	○	○											
キャリアマネジメント科目群 Career Management	キャリアマネジメント	Neuro Diversity and Self-Management	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	1				○	○	○									
		Tsukuba Creative Camp Advanced	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	1				○	○	○									
		Career Paths for Phds	1-2-3-4-5 日本語	Japanese	1				○	○	○									

科目 区分 Course Category	科目番号 Course Number	授業科目の名称 Course Name	標準履修 年次 Standard registration year	使用言語 Language	単位数 Credits			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
					必修 Required	選択 Elective	自由 Free Elective										
知的基盤形成科目 群 Intellectual Foundation Courses	0400501	生物多様性と地球環境	1-2-3-4-5	日本語		1		○				○	○				○
	0400502	内部共生と生物進化	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○				○
	0400503	海洋生物の世界と海洋環境講座	1-2-3-4-5	日本語		1		○				○	○				○
	0400504	科学的発見と創造性	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○				
	0400505	自然災害にどう向き合うか	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○	○		○	
	0400506	「考える」動物としての人間—東西哲学からの考察	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○	○		○	○
	0400507	21世紀と宗教	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○	○		○	○
	0400508	UT-Top Academicist's Lecture	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○	○		○	○
身心基盤形成科目 群 Mental and Physical Works	0400601	型造実習	1-2-3-4-5	日本語		1		○					○	○			
	0400602	コミュニケーション・アート&デザインA	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○	○			
	0400603	コミュニケーション・アート&デザインB	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○	○			
	0400604	日本画実習	1-2-3-4-5	日本語		1		○					○	○			
	0400605	ヨーガコース	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○	○			
	0400606	絵画実習A	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○	○			
	0400607	現代アート入門	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○	○			
	0400608	書習基礎	1-2-3-4-5	日本語		1		○		○			○	○			
	0400611	大学院体育1a	1	日本語 英語		1		○		○							
	0400612	大学院体育1b	1	日本語 英語		1		○		○							
	0400613	大学院体育1c	1	日本語 英語		1		○		○							
	0400614	大学院体育11a	2	日本語 英語		1		○		○							
	0400615	大学院体育11b	2	日本語 英語		1		○		○							
	0400616	大学院体育11c	2	日本語 英語		1		○		○							
	0400617	大学院体育111a	1-3	日本語 英語		1		○		○			○	○			
	0400618	大学院体育111b	1-3	日本語 英語		1		○		○			○	○			
	0400619	大学院体育111c	1-3	日本語 英語		1		○		○			○	○			○
	040061A	大学院体育1Va	2-4	日本語 英語		1		○		○			○	○			
	040061B	大学院体育1Vb	2-4	日本語 英語		1		○		○			○	○			○
	040061C	大学院体育1Vc	2-4	日本語 英語		1		○		○			○	○			
	040061D	大学院体育1Va	3-5	日本語 英語		1		○		○			○	○			
	040061E	大学院体育1Vb	3-5	日本語 英語		1		○		○			○	○			○
	040061F	大学院体育1Vc	3-5	日本語 英語		1		○		○			○	○			

参考資料：令和4年度版

【学術院共通基盤科目】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0AS0001	人間総合科学基礎論	2	1.0	1・2	春C	月2,3		新井 哲明	人間総合科学学術院の各学位プログラムの学生が、持ち回りで、各自の研究テーマや学位プログラムの学問領域の特徴をプレゼンし、履修者全員で議論することにより、自身の専門とは異なる分野の研究に関する基礎知識、研究手法、物の見方、考え方を学ぶ。この演習を通して、分野融合的視点を身につけることにより、人間に関する総合的理解を深め、探究心に磨きをかける。各学位Pの後期課程学生が、プレゼン指導やディスカッションのファシリテーターの役割を担うTFとして参画する。	オンライン(オンデマンド型) オンライン(一部 オンデマンド型)
0AS0101	教育学理論研究	1	1.0	1	春C	月1,2		濱田 博文, 佐藤 博志, 上田 孝典, 藤井 穂高, 平井 悠介, タスタンベコワ クアニシ, 京免 徹雄, 徳永 智子, 田中 正弘, 藤田 晃之	教育学研究を展開する上で、関連する学問分野の理論的な基礎を学ぶ。「教育」に関わるテーマを研究するのは教育学だけでなく、関連領域として様々な学問分野においてもテーマとなりえる。そのため、様々な学問分野における基礎的な理論や方法について学ぶことで、教育学研究を進めるための視野を広げ、複眼的な視点から教育学を研究する素養を身に付ける。具体的には、教育をテーマにした以下の学問分野における研究から教育学への知見を導く。教育学と思想・哲学/歴史学/外国研究/地方行政学/政治学/社会学/経営学/法律学/文化人類学/福祉学の各学問分野が検討される。	
0AS0102	次世代教育開発研究	1	1.0	1	春C	集中	1H201	朝倉 雅史, 小松 孝太郎, 國分 麻里, 井田 仁康, 礪田 正美, 清水 美憲, 藤田 晃之, 石崎 和宏, 宮崎 明世, 唐木 清志, 長田 友紀, 田中 マリア, 勝田 光	次世代教育開発をテーマに、最新の教育時事の理論的検討やディスカッションを行う。本学が定める汎用コンピテンスである「知の活用能力」「マネジメント能力」「コミュニケーション能力」「チームワーク力」「国際性」、及び、教育学(前期)学位プログラムの専門コンピテンスである「教育課題発見能力」「教育内容探究能力」「教育学的分析能力」「教育課題解決能力」の基礎を培うことを目標とする。具体的には、『Society 5.0 に向けた人材育成』に関わる理論や国内外の実践事例等を中心に広範に調査し、学校教育、キャリア教育、教育工学など多様な視点から分析的・総合的な検討を受講者間の議論を通して行う。	対面
0AS0103	Theory of International Education	1	1.0	1	秋C	金3,4		川口 純, 菊地 かおり, Carol Inugai-Dixon, 梅津 静子, 原 和久	国際教育に関する諸問題を多角的な視点から理解し、またその論点について十分な知識をもとに論じることができるようになることを目標とする。授業では、国際教育に関する諸問題について、国際教育開発及び国際教育協力、国際理解教育、グローバル化の中での高等教育の変容などを事例として考察し、国際教育及び教育の国際化をめぐる今日的な動向及びその論点について理解を深める。英語によって授業を行う。	英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
0AS0104	心理統計学特講	1	2.0	1・2	秋AB	月3,4		山口 一大	本授業では、受講者が量的研究を行う際に、リサーチクエスチョンの設定、研究計画の立案、これに基づくデータの収集や分析、結論の導出といった手続きを適切に行えるようになることを目指し、教科書に沿って授業を行う。	・受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないため、誰でも受講可能。・オンライン(オンデマンド型)
0AS0201	武道学	1	1.0	1・2	春AB	水2	5C412	酒井 利信	武道は日本の歴史の中で育まれてきた固有の運動文化であり、日本文化のアイデンティティーを自覚するには必須の学習課題である。本授業では、特に刀剣思想を題材とし、東アジアを視野に入れた日本精神史としての武道を学ぶ。	オンライン(オンデマンド型)
0AS0202	健康増進学特講	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C302	大蔵 倫博	加齢に伴う生活機能の変化と健康との関連に基づき、健康増進(サクセスフルエイジング)に必要なトレーニング法、生活実践法などについて講義する。一般健康者、高齢者、有疾患者に対する運動処方についても講義する。学習目標は、中年期から高齢期までのヘルスプロモーションのあり方および加齢にともなう体力(生活機能)の低下と健康との関連について理解することである。特に、サクセスフルエイジング、元氣長寿のための運動プログラム、中年期における体重管理の意義、健康におよぼす運動習慣化の効果、保健指導の問題点と健康支援の重要性、統計データから読み解く高齢者問題、生活機能、身体機能と介護予防の関係、認知機能と介護予防の関係、心理社会機能と介護予防の関係について学ぶ。	01EH550と同一。 オンライン(同時双方向型)
0AS0203	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1		前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	AT必修科目 01EH621と同一。 オンライン(オンデマンド型)

OAS0204	Olympic and Paralympic History (オリンピック・パラリンピック史)	1	1.0	1	秋AB	火1	澤江 幸則, 大林 太郎	オリンピック競技会、パラリンピック競技会の歴史について、その始まりと発展過程について今日の課題とともに学ぶ。授業計画は次のとおり。 (1) 古代オリンピックの起源と展開について、(2) ネメア競技祭の復興と展開について、(3) イギリスと近代ギリシャにおける古代オリンピック復興、(4) 近代オリンピックの展開、(5) 日本におけるオリンピック競技会の歴史、(6) ストックマンデビル競技会の創設、(7) パラリンピック競技会の創設と発展、(8) 日本におけるパラリンピック競技会の歴史、(9) 筑波大学とオリンピックの歴史。	英語で授業。 対面(オンライン併用型) To due the COVID-19 crisis, this course will be held online. Online synchronous courses may be adopted if the situation changes.
OAS0301	研究のビジュアルデザイン	2	1.0	1・2	春AB	月2	田中 佐代子, 小林 麻己人	研究成果を効果的に発表するために必要なビジュアルデザインの基本的な知識や技術を、PowerPointやExcelによる演習課題の制作を通して学ぶ。人間の心身及び諸活動に関する研究成果を効果的に発表するために必要なビジュアルデザインの実践力を身につけることを目的とする。	オンライン(オンデマンド型)
OAS0303	大学を開くデザインプロデュースA	2	1.0	1・2	春AB	応談	菅野 圭祐, 山田 協太, 原 忠信, 藤田 直子	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 対面
OAS0304	大学を開くデザインプロデュースB	2	1.0	1・2	春C 夏季休業中	応談	菅野 圭祐, 山田 協太, 原 忠信, 藤田 直子	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 対面
OAS0305	大学を開くデザインプロデュースC	2	1.0	1・2	秋AB	応談	菅野 圭祐, 山田 協太, 原 忠信, 藤田 直子	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 対面
OAS0306	世界遺産を科学する	1	1.0	1・2	秋AB	火2	人社 B218 池田 真利子, 黒田 乃生, 飯田 義彦, 伊藤 弘, 上北 恭史, 下田 一太, 松井 敏也, 八木 春生, 吉田 正人	世界遺産保護における課題と解決方法を自然科学、人文社会科学の視点から講述する。美術史、政策、観光、保存科学、景観保護、自然保護など世界遺産を対象に多様な切り口から知識と総合的な視座を獲得する。同時に国内外の世界遺産における国際協力の事例と手法を学ぶ。	対面 希望者はオンライン受講可能
OAS0401	こころの神経科学	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中	高橋 阿貴, 綾部 早穂, 山田 一夫, 岩木 直, 國松 淳, 三益 亜美, 阿部 高志, 松本 正幸, 太田 深秀, 佐々木 哲也	「こころ」を理解するための神経科学的研究の手法と成果について学習し、社会への応用の可能性を考える。専門学問領域の修得を深めるために、分野横断的融合型研究の視点を活用する豊かな発想を養う。 分子から精神までを網羅するニューロサイエンスの基礎を学ぶことにより、こころの理解に向けての分野横断的視点や考え方を学ぶことができる。	オンライン(同時双方向型)
OAS0402	神経科学先端セミナー1	1	1.0	1・2	通年	応談	高橋 阿貴, 國松 淳, 山田 洋	遺伝子、分子、細胞、組織、生理、システム、数理、行動、認知、応用、支援など、ニューロサイエンスの各領域の先端的研究について、担当教員が毎回ゲストとして招く研究者によるセミナー講演を通して学ぶ。最新の研究手法や理論についての知識を深めるとともに、講師とのインフォーマルディスカッションを通して、生命科学、行動科学、情報科学、社会科学を架橋するニューロサイエンスの醍醐味、面白さを学び、ヒトのこころの理解を目指す人間科学の研究者としての視野を広げる。	対面
OAS0501	医科学セミナーI(ブレインサイエンス)	1	1.0	1・2	通年	応談	松本 正幸	分子神経生物学からシステム脳科学および臨床医学にわたる様々な神経科学の分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、研究の最前線を知るとともに、神経科学の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。 トピック:脳、神経、病気、精神、パーキンソン病、自閉症、統合失調症、ロボットスーツHAL	オンライン(対面併用型)

0AS0507	社会医学概論	1	2.0	1	春AB	木1,2	市川 政雄, 近藤 正英, 五所 正彦, 斎藤 環, 田宮 菜奈子, 山岸 良匡, 我妻 ゆき子, 笹原 信一郎, 森田 展彰, 伊藤 智子, 大谷 保和, 菅野 幸子, Togoobaatar Ganchimeg, 福重 瑞穂, 堀 愛, 岩上 将夫, 高橋 晶, 高橋 司	人びとの健康に寄与する要因が多岐にわたること、人びとの健康を増進するには学際的な取り組みが欠かせないことを理解することを目標とする。社会医学の今日的課題をさまざまな観点から論じることができる。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
0AS0508	医学物理学のすゝめ	1	1.0	1	春B	金3,4	磯辺 智範, 榮 武二, 熊田 博明, 森祐太郎	医学物理学とは、高精度放射線治療を支える物理学、工学、放射線技術学等を複合した学問であり、その内容は多岐にわたる。本講義では、医学物理学を学ぶ上で必須となる基礎的知識の習得を目指し、様々なテーマを取り上げ解説する。	オンライン(オンデマンド型)
0AS0509	TED MED: Scientific English	1	1.0	1・2	秋BC	応談	メイヤーズ トーマス デヴィッド	The ability to communicate clearly about your research to a global audience is a vital skill for the modern scientist. In this course, students will study scientific English through the medium of TED talks on medical-related topics. This online, on-demand course will provide students with materials to improve their scientific English understanding, scientific presentation and communication skills, and creative thinking, while learning about exciting topics in science and medicine.	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
0AS0510	“巨人の肩に立つ”ー 生命医科学の歴史と未来ー	1	1.0	1・2	春BC	火3	小林 麻己人, 川口 敦史, 森川 一也, 西村 健, 山崎 聡, 水野 聖哉, 松本 正幸, 平野 有沙, 尾崎 遼, 広川 貴次	生命医科学における様々な研究トピックを、鍵となる発見・発明から目指す未来まで、分野外の人にも分かりやすくオンデマンド形式で概説する。今年度のトピックは、ウイルスとワクチン・パンデミック、抗生物質・薬剤耐性菌・微生物叢、iPS細胞・エビゲノム、幹細胞生物学・細胞治療、遺伝子改変・モデル動物、脳神経・認知、概日時計・睡眠医学、ビッグデータ解析・機械学習、ケミカルバイオロジー・インシリコ創薬、老化と死・健康寿命、である。	オンライン(オンデマンド型) 生命医科学研究のイロハを分かりやすく説くので、医学関連以外の学生の受講も特に推奨する。
0AS0511	医学概論	1	1.0	1・2	春A	火3,4	檜澤 伸之, 山崎 正志, 榎本 剛史, 丸島 愛樹, 家田 真樹, 森島 祐子, 乃村 俊史, 関根 郁夫, 松本 功, 岡田 浩介, 許 東洙	「医学概論」講義は、さまざまな臨床分野で活躍する経験豊かな医学部の教授陣が、その知識と見識紹介し、学生は臨床医学各分野の最近情報を包括的に学ぶことができる。医学の分野でキャリアを積みたいと考えている方にも、単に理解を深めたいと考えている方にも、このレクチャーシリーズは学生にとって最適な機会です。	OAXA001を履修済みの学生は履修不可 英語で授業。 ・受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないため、誰でも受講可能。・ オンライン(オンデマンド型)
0AS0512	研究マネジメント基礎	4	2.0	1	春C	応談	橋本 幸一	目標: 研究開発を中心とした各種プロジェクトの推進に必要な様々な基礎専門知識とスキルの基礎を習得する。自分自身の修士論文研究の研究計画の立案、マイルストーンの設定ができる。また、研究推進のためのマネジメントができる。	オンライン(対面併用型)
0AS0601	カウンセリング方法論基礎I	1	1.0	1	春ABC	集中	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)担当教員	広義のカウンセリング領域における基本概念整理を行い、文献検索による課題の絞りこみや様々な研究方法の概要について習得する。本科目においては広義のカウンセリング領域について基本概念や方法等を学ぶことにより、人間の心身及び諸活動に関する幅広い知識と総合的視座を身に付けることを目的とする。他領域の学生にとっても、知識の習得、文献検索、研究方法の修得などから専門知識及び専門技能に必要な倫理を学ぶことが可能となる。	・受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないため、誰でも受講可能。・ 対面
0AS0602	リハビリテーション方法論基礎I	1	1.0	1	春A	水7,8	リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)M1担任, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)担当教員	研究法の基礎として、研究デザイン、学術論文の要件、臨床研究の倫理、実験計画法、調査法、観察法、面接法、質的研究法、事例研究法、文献研究法、検査法等について概説する。	オンライン(オンデマンド型) 受講は人間総合科学学術院の在学生に限る。
0AS0603	スポーツ・ヘルスプロモーション方法論	1	1.0	1・2	春C	水7,8	山口 香, 久野 譜也, 高橋 義雄, 辻大士	スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な方法論について概説する。各自の研究計画の実現に向けて、研究デザインと科学的方法の客観性を担保する方法基礎論を理解し、文献や資料のオンライン検索の方法を学ぶ。また、社会調査法の一般的な手順を概説する。さらに、調査や実験データの分析法・検定法などの統計手法について、分析や検定結果の解釈法について文献を用いて理解したり、実際に統計解析ソフトを用いながら理解を深める。	01EK002と同一対面
0AS0702	研究者のための学術情報流通論	1	1.0	1				自らの専門分野の学術情報流通と評価を見つめなおし、他分野の研究評価の在り方を知ることで、学術全般についての意識を高めるとともに、研究と学術情報流通のあり方についてマクロに考える。	2023年度開講せず。

0AS0703	音響メディア情報	1	1.0	1	春C	火1,2		寺澤 洋子, 善甫 啓一, 内山 俊朗, 松原 正樹	社会における音の課題(音声コミュニケーション、音環境、聴取と認知など)について学び、音楽やメディアアートといった応用的な事例の検討を通じて、実社会におけるコミュニケーションのユニバーサルデザインを考える。	オンライン(オンデマンド型)
0AS0704	情報アクセス	1	2.0	1・2	秋AB	金5,6		関 洋平, 森嶋 厚行	大量の情報へのアクセスは、ビッグデータ時代の鍵となる技術であり、その重要性は益々増大するばかりである。本講義では、情報アクセスの中心的な技術である情報検索、情報管理・統合技術、自然言語処理について、最先端の技術動向を交えながら説明する。これらの領域における最先端の話題として、WWWを舞台としたコレクティブインテリジェンスや共創知、クラウドソーシング、ソーシャルメディアにおける情報統合についても解説し、情報アクセス技術のこれまでとこれからの研究や社会応用の展望について理解を深める。	偶数年度は英語で授業、奇数年度は日本語で授業;メディアサイエンス専門科目;教職科目;学院共通専門基盤科目 OATW11Aと重複履修不可。 01MBB02、01MBC01と同一。 オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)

※掲載科目は2023年3月末現在の情報です。最新の情報は、kdbで確認してください。

11. 世界遺産学インターンシップ

(1) 事前準備

- ① インターンに行く場合には必ず事前に指導教員に相談してください。
- ② 受け入れ先によっては正式な契約書、誓約書などが必要となります。紹介教員から確認してもらい、必要な場合は指導教員まで申し出てください。
- ③ インターンに行く前に学生保険に入ってください。（保険に関しては体芸支援室の学生支援係にお問い合わせください。）
- ④ 先方担当者に評価書（書式2）を記入・提出していただくことになりますので、あらかじめ記入書式があることを伝えてください。

(2) インターン中

- ① 世界遺産学インターンシップ報告書（書式1）に必要事項を自分で記入し、インターン先担当者のサインをもらってください。
- ② インターン終了後、インターン先の担当者（プログラム指導担当者）に世界遺産学インターンシップ評価書及び修了証明書（書式2）に総合評価（A～D）と所見の記入、修了証明のサインを頂いてください。

(3) 修了後

指導教員、紹介教員に報告し、報告書（書式1）と評価書（書式2）をカリキュラム担当教員まで提出してください。

(4) これまでの受け入れ先、紹介者例

（そのほかにも様々な機関でインターンをしています。詳細はカリキュラム担当教員まで。）

受け入れ先	内容	紹介教員
ユネスコアジア文化センター文化遺産保護協力事務所	アジア太平洋地域を対象とした文化遺産の保護・調査・修復の研修における補佐	平成17年度から引継ぎ
Bangkok UNESCO 事務所	ユネスコ文化遺産プログラムの業務補助	上北
TBS テレビ	TBS「世界遺産」番組製作現場を学ぶ	上北
白川村（社）ホワイエ	中長期滞在による観光、景観保全の活動	黒田
野外博物館 合掌造り民家園	企画展示、運営業務	黒田
（公財）日本交通公社	観光関係データベース作成等	伊藤
東京国立博物館	保存環境、保存修復に関する業務補助	松井
（株）JTB 総合研究所	観光コンサルティングの調査補助業務	池田
Studio Gross	市民コンサルティングの補助業務	池田

※大学経由型インターンシップなどは、筑波大学キャリア支援チームのHPより確認してください。（P.48参照）

筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群世界遺産学位プログラム
(博士前期課程)

世界遺産学インターンシップ評価書及び修了証明書 (見本)

受入機関名	令和 年 月 日 ー 月 日
実習期間	
学生氏名	
総合評価	A 100～80 点 B 79～70 点 C 69～60 点 D 59 点以下
所見	
インターンシップ制度の改善点・大学への要望など	

上記のとおり世界遺産学インターンシップを修了したことを証明します。

令和 年 月 日
プログラム指導担当者

氏名 _____ 印

筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群世界遺産学位プログラム
(博士前期課程)

世界遺産学インターンシップ報告書 (見本)

プログラム指導担当者の捺印	
印	
学生氏名	筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群世界遺産学 学位プログラム (博士前期課程) 学籍番号 氏名
担当教員	氏名
受入機関名	
期 間	令和 年 月 日 ー 月 日
受入機関指導責任者	部署名 氏名
プログラムテーマ	
スケジュール	プログラム内容 (概要)
月 日	



世界遺産学学位プログラム（博士後期課程）

1. 筑波大学大学院スタンダード 世界遺産学学位プログラム（博士後期課程） Doctoral Program in Heritage Studies

授与する学位の名称	博士（世界遺産学）〔Doctor of Philosophy in Heritage Studies〕	
人材養成目的	世界の文化遺産・自然遺産の社会的・国際的役割を、地球環境と人間社会の持続可能性の達成を目的とする国際社会のアジェンダ、国際ガバナンスとの関係のもとに総合的に理解し、遺産が直面する問題の所在を政治・経済・社会・自然的要因に関連付けて分析し、その解決のための理論・技術を研究する高い能力を有する世界遺産学の研究者・大学教員、世界のトップリーダーとなる高度専門職業人を育成する。	
養成する人材像	世界の文化遺産・自然遺産の保護において、世界に貢献するという明確な意思及び態度、倫理観、国際社会、特に国際機関における議論の場で通用するコミュニケーション能力・交渉力、国際社会におけるニーズを的確に把握して課題を解決する能力、世界の文化遺産・自然遺産を次世代に伝えていくことができる世界遺産学の研究者・教育者としての能力を持った人材を育成する。	
修了後の進路	大学等教育機関の教員、研究者及び国や地方公共団体の職員、研究員等。文化遺産保護・国際協力分野の公的機関やコンサルタント関連企業等の職員、研究員 ほか。	
ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力	評価の観点	対応する主な学修
1. 知の創成力：未来の社会に貢献し得る新たな知を創成する能力	① 新たな知の創成といえる研究成果等があるか ② 人類社会の未来に資する知を創成することが期待できるか	世界遺産学特別研究、インターンシップ、学会発表など
2. マネジメント能力：俯瞰的な視野から課題を発見し解決のための方策を計画し実行する能力	① 重要な課題に対して長期的な計画を立て、的確に実行することができるか ② 専門分野以外においても課題を発見し、俯瞰的な視野から解決する能力はあるか	世界遺産学特別研究、インターンシップ、学会発表など
3. コミュニケーション能力：学術的成果の本質を積極的かつ分かりやすく伝える能力	① 異分野の研究者や研究者以外の人に対して、研究内容や専門知識の本質を分かりやすく論理的に説明することができるか ② 専門分野の研究者等に自分の研究成果を積極的に伝えたとともに、質問に的確に答えることができるか	世界遺産学特別研究、インターンシップ、学会発表など
4. リーダーシップ力：リーダーシップを発揮して目的を達成する能力	① 魅力的かつ説得力のある目標を設定することができるか ② 目標を実現するための体制を構築し、リーダーとして目的を達成する能力があるか	世界遺産学特別研究、インターンシップ、学会発表など
5. 国際性：国際的に活動し国際社会に貢献する高い意識と意欲	① 国際社会への貢献や国際的な活動に対する高い意識と意欲があるか ② 国際的な情報収集や行動に十分な語学力を有するか	世界遺産学特別研究、国際インターンシップ、海外留学、海外学会発表など
6. 共通知の展開力：文化・自然遺産保護に共通する知識を社会に役立てる能力	文化・自然遺産の保全に関する幅広い研究成果を展開し、社会に役立てようとしているか。	世界遺産学特別研究、インターンシップ、学会発表など
7. 専門知の創造力：文化・自然遺産に関する高度な知識を創造し活用する能力	文化・自然遺産の保全に関する専門的研究の成果を社会に役立てようとしているか。	世界遺産学特別研究、インターンシップ、学会発表など
8. 共通技能の展開力：文化・自然遺産保護に共通する課題の解決に対応する能力	文化・自然遺産の保全のため、研究成果を展開し、問題解決に取り組むことができるか。	世界遺産学特別研究、インターンシップ、学会発表など
9. 専門技能の開発力：文化・自然遺産保護の専門的課題の解決方法を見出す能力	文化・自然遺産の保全のため、専門的な解決方法を開発し、問題解決に取り組むことができるか。	世界遺産学特別研究、インターンシップ、学会発表など
10. 国際的開発力：文化・自然遺産の保護の国際的課題に取り組む意識と意欲	文化・自然遺産の保全のため、国際社会に貢献する高い意欲と十分な語学力を身につけたか。	世界遺産学特別研究、国際インターンシップ、海外留学、海外学会発表など

学位論文に係る評価の基準	
(博士論文審査) 1. 予備審査委員会は、主査 1 名、副査 3 名以上、計 4 名以上の委員で構成し、主査は世界遺産学学位プログラムの専任教員とする。予備審査委員会は、提出論文ごとに 1 回以上開催し、委員全員が一致して、12 ヶ月以内に申請者による学位論文の提出が可能であると判断した場合に「可」、その他の場合に「否」と判定する。 2. 論文審査委員会は、主査 1 名、副査 3 名以上、計 4 名以上の委員で構成し、主査は世界遺産学学位プログラムの専任教員とする。論文審査委員会は、提出論文ごとに 1 回以上開催し、学位論文の審査を公開で実施し、可否の判定を行う。公開審査の公表から実施までには原則として 1 週間以上の周知期間をおくものとする。 3. 論文審査委員会主査は、論文博士審査委員会の判定終了後、その結果を、速やかに世界遺産学学位プログラム教育会議に報告し、学位プログラムリーダーを通じて人間総合科学学術院運営委員会に報告する。 (評価基準) 1. 世界遺産学の博士論文として適切なテーマが設定されていること (問題意識・課題設定) 2. 先行研究を踏まえた論文の位置づけが明確であること (研究の位置づけ) 3. 課題にふさわしい研究方法が選択されその論拠が信頼できるものであること (研究方法、論拠の信頼性) 4. 論旨展開が十分で、全体に大きな矛盾がないこと (論文の構成) 5. 研究の実施および結果の公開において倫理的な問題がないこと (倫理) (評価項目) 1. 独創性：導入した概念や方法、発見した事実や法則のいずれかが新規であること。既知の方法の改良、異なる分野からの応用等を含むこと。 2. 萌芽性：研究の着手段階であるが、新規な発想、着想に基づく研究で今後の発展の可能性の大きなものであること。 3. 発展性：従来の定説を変え得る新事実の解明、あるいは新しい研究領域や研究体系・技術体系の開拓等の契機と成り得るものであること。 4. 有用性：技術の向上、あるいは実用上、学術上に価値のある有用な情報を提供するものであること。	
カリキュラム・ポリシー	
世界遺産の保護に関する社会的・国際的ニーズに応えるため、遺産保護に関する高度な研究を行う研究者、国内外の遺産保護の現場、国際機関等で高度の学識と専門的能力をもって遺産保護に従事するプログラムオフィサーを育成するため、実践的かつ学際的な学修課程を編成する。	
教育課程の編成方針	遺産保護に関する高度な研究を行う研究者、国内外の遺産保護の現場、国際機関等で高度の学識と専門的能力をもって遺産保護に従事するプログラムオフィサーを育成することを目的に、「文化遺産政策・行政」、「自然遺産・自然保護」、「遺産整備」、「観光計画」、「景観計画」、「建築遺産」、「美術遺産」、「保存科学」、「国際遺産学」の 9 つの領域からなる教育課程を編成する。
学修の方法・プロセス	・各学年次において、専門領域の特別研究に参加し、指導教員の指導を受ける。 ・2 年次秋学期において、全教員の前で博士論文の中間発表を行い、研究に対する助言を受ける。 ・3 年次において、予備審査を経た上で、博士論文を提出し、主査 1 名、副査 3 名以上で構成される論文審査委員会により博士学位論文の審査を行う。
学修成果の評価	・1 年次、専門領域の特別研究において、博士論文研究計画を発表する。 ・2 年次秋学期において、全教員の前で博士論文の中間発表を行い、審査を受ける。 ・3 年次において、予備審査を経た上で、博士論文を提出し、主査 1 名、副査 3 名以上で構成される論文審査委員会により博士学位論文の審査を受ける。
アドミッション・ポリシー	
求める人材	世界遺産の評価、保存、管理と活用に広い視野と柔軟な思考をもって取り組む意欲を持ち、研究活動に適した学力と資質を備えた学生を求める。
入学者選抜方針	入学試験は、口頭試問によって行い、専門に関わる研究能力とプレゼンテーション能力を重視して、選抜を行う。

2. カリキュラム・マップ

Degree Programs in Comprehensive Human Sciences (Doctoral Program) (人間総合科学学術院 人間総合科学学術院 博士後期課程)										汎用コンピテンシス Generic Competences					専門コンピテンシス Specific Competences				
科目 区分 Course Category	科目番号 Course Number	授業科目の名称 Course Name	標準履修 年次 Standard registration year	単位数 Credits			授業形態 Course Methods			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
				必修 Required	選択 Elective	自由 Free	講義 Lecture	演習 Seminar	実験 実習 Practice Exercise										
										知識の 創成力 Knowledge creation competence	マネージメント能力 Management competence	コミュニケーション 能力 Communication competence	リーダーシップ力 Leadership competence	国際性 Internationality competence	共通知の展開力 The ability to develop co- notification	専門知の創造力 Ability to create specialized knowledge	共通技能の展開力 Ability to develop common skills	専門技能の展開力 Capacity to develop professional skills	
■世界遺産学学位プログラム (D) Doctoral Program in Heritage Studies																			
基礎 科目 Basic Subjects	0400103	研究倫理*	1-2	1				○											
	00S006	世界遺産を科学する**	1-2	1				○			○			○					
	00Y001	世界遺産学特別研究	1~3	3							○			○	○	○	○	○	○
※「必修」は学位プログラムとしての必修を要す。 ※*を付した科目は大学院共通科目 ※**を付した科目は学術院共通専門基礎科目																			



世界遺産学学位プログラム（博士後期課程）

3. 履修方法

【履修方法・修了要件】

科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数
専門科目	必修科目	世界遺産学特別研究 上記のほか学院共通専門基盤科目、 大学院共通科目の履修を推奨する。	3
		修了単位数	3

（修了要件）

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年（修士課程早期修了者等にあつては当該課程における在学期間を含めて3年）以上在学すれば足りるものとする。

4. 履修申請の注意事項

- ・履修申請は申請期間中に TWINS を利用して行ってください。

履修申請を忘れた場合は TWINS から追加履修申請書を出し、体育芸術エリア支援室の大学院教務担当まで提出してください。追加履修申請書には授業担当教員、指導教員、専攻長の3名の署名捺印が必要となりますので注意してください。

5. コンピテンス達成度評価について

博士後期課程の場合にも、コンピテンス達成度評価を実施し、かつ学位プログラムで定めている達成度評価基準を満たすことが必要です。詳細は p.7～p.8 を参照して下さい。

コンピテンス評価表（世界遺産学学位プログラム・博士後期課程）

学籍番号

氏名

科目名	汎用コンピテンス					専門コンピテンス					コンピテンス 科目別合計
	知の 創 成 力	マ ネ ジ メ ン ト 能 力	コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 能 力	リ ー ダ ー シ ッ プ カ ラ ー	国 際 性	共 通 知 の 展 開 力	専 門 知 の 創 造 力	共 通 技 能 の 展 開 力	専 門 技 能 の 開 発 力	国 際 的 開 発 力	
学位プログラム開設科目											
											0
											0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術院共通専門基盤科目											
											0
											0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学院共通科目											
											0
											0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他学位P開設科目											
											0
											0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
授業科目以外の評価項目											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
達成基準	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30
達成状況	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

6. 授業一覧

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTV001	世界遺産学特別研究	2	3.0	1 - 3	通年	随時		池田 真利子, 飯田 義彦, 伊藤 弘, 上北 恭史, 黒田 乃生, 下田 一太, 滝沢 誠, 野中 勝利, 松井 圭介, 松井 敏也, 八木 春生	世界遺産ならびに関連する国際的・国内的な文化遺産・自然遺産の保全制度の比較研究を通じて、研究者としての能力を養う。既往研究に基づいた問題設定、適切な研究・分析の方法、研究倫理をふまえた論文執筆など、世界遺産学を担う研究者にふさわしい能力を身につける。	対面、オンライン(同時双方向型) ※オンライン、対面を併用して随時研究指導を行う

【共通科目・共通専門基盤科目】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OA00103	研究倫理	4	1.0	1 - 5	春BC	随時		岡林 浩嗣, 大須賀 壮	研究活動に従事する上で踏まえるべき研究倫理の基礎を、具体的事例を交えて講義する。研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスなどを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、科学技術政策、研究助成のしくみ、申請や審査のしくみなどについても触れる。 本科目は講義を主体としつつ、講義の間に演習(個別演習・グループ演習)を交互に挟む構成とする。講義においては、研究倫理と研究公正に関連する基本概念を整理すると共に、研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスに関わる問題などを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、学術研究活動を取りまく環境の変化や、科学研究費の申請や審査のしくみなどについても触れる。特に特定不正行為に関しては具体的事例を元にその原因や背景を解説し、受講者が研究活動を行う上で必要な対策について具体的に考える機会を与える。	オンライン(オンデマンド型)
OAS0306	世界遺産を科学する	1	1.0	1・2	秋AB	火2	人社 B218	池田 真利子, 黒田 乃生, 飯田 義彦, 伊藤 弘, 上北 恭史, 下田 一太, 松井 敏也, 八木 春生, 吉田 正人	世界遺産保護における課題と解決方法を自然科学、人文社会科学の視点から講述する。美術史、政策、観光、保存科学、景観保護、自然保護など世界遺産を対象に多様な切り口から知識と総合的な視座を獲得する。同時に国内外の世界遺産における国際協力の事例と手法を学ぶ。	対面 希望者はオンライン受講可能

その他

1. 事務手続き補足（学生生活など）

■修業年限、在学年限について

修業年限とは、課程を修了するために必要な在学期間です。また、在学年限とは、在学することができる最大の年数です。標準修業年限及び在学年限は次のとおりです。なお、休学は原則として通算で博士前期課程は2年まで、博士後期課程は3年まで取得できますが、休学期間は修業年限及び在学年限には算入されません。

（大学院便覧：学生生活 参照）

課 程	標準修業年限	在学年限
博士前期課程	2 年	4 年
博士後期課程	3 年	5 年

※ 長期履修学生に係る修業年限、在学年限は、大学院学則の規定に基づき別途定められていますので、支援室大学院教務担当に確認してください。

■休学、復学、退学、留学等について

休学、復学、退学、留学等、学籍異動を要する場合は、所定の手続きを行って大学の許可を得ることが必要です。休学等の手続きは、先ず指導教員と体育芸術エリア支援室大学院教務担当に相談をし、学位プログラムリーダーにアポイントメントをとって面談を行ってください。なお、許可を得るためには関係委員会での承認を得るまでの期間が必要となりますので、すべての申請手続きは原則として**1カ月前まで**に行ってください。

また、休学許可日によっては、許可された休学期間の授業料が免除されます。休学が予定されている場合は、できるだけ早く体育芸術エリア支援室大学院教務担当にご相談ください。



（大学院便覧：学生生活 参照）

■履修申請

履修を希望する科目については、定められた履修申請期間中（履修申請の締切日は TWINS のお知らせ欄を参照）に履修申請をしなければなりません。履修申請をしない科目の履修は認められませんので、各自必ず履修申請を行なってください。

履修申請は、「TWINS」というシステムを利用して WEB 上で行います。入学時に統一認証システムの ID と初期パスワードが記載されたカードを配布しています。この ID とパスワードを使用して TWINS にログインしてください。なお、統一認証のパスワードが不明になった等の事情により再交付が必要な場合には、学術情報メディアセンターあるいは附属図書館に再交付を願い出てください。

また、科目の実施情報（曜時限や教室など）に変更があった場合は、①manaba 等により担当教員から直接連絡、②TWINS の WEB 掲示板にて案内、③世界遺産事務室前の掲示板などで周知されます。

WEB 掲示板等は毎日必ず確認するようにしてください。

集中授業（曜時限が「集中」となっている科目）については、具体的な実施日が決定するまでは履修登録ができません。実施日が決定次第、世界遺産事務室前の掲示板にお知らせが掲示されますので、履修申請期間内に履修登録を行ってください。

■履修申請変更願（履修申請期間外の変更について）

止むを得ない理由があって、TWINS 履修申請の締切日を過ぎて、科目を追加履修あるいは履修中止をする場合は、下記手順に従い TWINS から「履修申請変更願」を印刷し、授業担当教員及び指導教員の承認印を得て、体育芸術エリア支援室大学院教務窓口へ提出してください。「履修申請変更願」には有効期限が記載されています。提出時に期限を過ぎていると無効となるので、TWINS から印刷した後速やかに提出してください。

なお、既に成績が入力されている科目は、原則として履修削除はできません。

* 履修申請期間中は、通常の履修登録画面から変更を行ってください。

-----操作方法-----

- ① TWINS メニューの「履修」カテゴリ内にある「履修申請変更」をクリック
- ② 中止したい、あるいは追加したい科目の科目番号を入力し、「追加」ボタンをクリック。
複数科目ある場合は、同じ操作を繰り返す。
（「追加科目」または「中止科目」に科目情報が追加されます。）
- ③ 「申請書作成」ボタンをクリック
- ④ 作成された PDF ファイルを印刷する
- ⑤ 必要事項を記入し、教員（授業担当教員及び指導教員）から承認印を得る
- ⑥ 体育芸術エリア支援室大学院教務窓口へ提出

令和3年
Date:

履修申請変更願

Request for Change of Registration

(1 / 1)

人間総合科学研究科（博士前期課程）長殿

To: Provost of the Graduate School of Comprehensive Human Sciences

人間総合科学研究科（博士前期課程）

2nd year in Master's Program in Physical Education, Health and Sport Sciences, Graduate School of Comprehensive Human Sciences

学籍番号 / Student ID No. XXXXXXXXXX 氏名 / Name _____ (自署 / Signature)

下記の通り、履修申請の変更についてご許可くださるようお願いします。
I here by request approval for a change of course registration as stated below.

自筆で署名

記 / Description

追加申請科目 / Request for Addition

科目番号 Course Code	科目名 Course Name	開講年度 Academic Year	学期 Semester	曜時限 Day/Period	単位数 Credits	担当教員 Instructor	承認印 Approval Seal
0ATV		2020	秋 Fall	月5・月5 Mon5・Mon5	1.0		

授業担当教員からの承認印

変更理由を記入

変更理由 / Reason for change (手書きで具体的に記述すること / handwritten detailed explanation required)

学群生 クラス担当教員等
Undergraduate School Students Class Instructor /
 Academic Advisor confirmation _____ 印/Sea

大学院生 指導教員
Graduate School Students Supervisor confirmation _____ 印/Sea

提出方法 / Submission procedure

- ①変更理由を記載する。 / State the reason for change.
- ②当該授業科目担当教員(世話教員)の承認を受ける。 / Obtain approval from the relevant course instructor.
- ③学群生はクラス担当教員等の確認を受ける。大学院生は指導教員等の確認を受ける。
Undergraduate School students must obtain confirmation from class instructor.
Graduate School students must obtain confirmation from their supervisor and Chair of the Master's/Doctor Program.
- ④提出期限までに所属の支援室に提出する。 / Submit to the affiliated Academic Service Office.

※ 本紙有効期限を越えると再登録が必要となるので注意すること。 / If you fail to submit by the deadline, you have to re-

 00000000000000000000000048667	本紙有効期限 Submit by	研究科長/学群長 Provost	専攻長/学類長 Chair/Dean	支援室受付 Academic Service Office
	2021年3月25日 16:58 March 25, 2021 16:58	この欄は記入不要		

筑波大学

提出期限の数日前までに
支援室大学院教務へ提出

指導教員からの
承認印



46

■シラバスの検索・閲覧

教育課程編成支援システム（KdB）を利用し、本学で開設されている授業のシラバスを閲覧することができます。ログイン用ユーザIDとパスワードの入力欄が配置されていますが、ログインをせず利用できます。

① KdB トップページへアクセス（<https://kdb.tsukuba.ac.jp/>）

② **検索**

例1）検索フィールド「フリーワード」に講義名、科目番号等を入力し**検索**

例2）「コースカタログ」ボタンからドロップダウンで「大学院便覧」＞「人間総合科学学術院」＞「人間総合科学研究群（博士前期課程）」＞「世界遺産学学位プログラム」と選択していき**検索**ボタンをクリック

③ **シラバス**ボタンをクリックすると、ブラウザ上でシラバスを表示できます。

検索フィールド

English

2023

学期: 指示なし
 曜日: 指示なし
 時限: 指示なし

教室: 指示なし
 指示なし
 指示なし

コースカタログ: 大学院便覧 > 人間総合科学学術院 > 人間総合科学研究群(博士前期課程) > 世界遺産学学位プログラム(博士前期課程) > 指示なし

フリーワード:

☐ OR ☐ AND

☐ 概要・シラバス・備考含む ☐ 英語で実施 ☐ 科目等履修生対象 ☐ 短期留学生対象 ☐ 当該年度開講しない科目を除く

検索 クリア

1件目 から 36件目の検索結果を表示しています（全部で 36件あります）

科目番号	科目名	授業方法	単位	年次	学期	曜時限	教室	担当教員	備考	科目等履修生	短期留学生	参照
OATV001	世界遺産論	1	2.0	1・2	春AB	水2,3	人社B218	池田 真利子, 黒田 乃生, 飯田 義彦, 伊藤 弘, 上北 恭史, 下田 一太, 滝沢 誠, 武 正憲, 野中 勝利, 松井 圭介, 松井 敬也, 八木 春生, 吉田 正人	オンライン(同時双方向型). 対面希望者はオンライン受講可能	×	×	シラバス 授業概要
OATV002	世界遺産特別演習	2	3.0	1	通年	随時		池田 真利子, 黒田 乃生, 飯田 義彦, 伊藤 弘, 上北 恭史, 下田 一太, 武正憲, 松井 敬也, 八木 春生, 吉田 正人	オンライン(同時双方向型). 対面	×	×	シラバス 授業概要

OATV001 世界遺産論
2.0 単位, 1・2 年次, 春AB 水2,3 池田 真利子, 黒田 乃生, 飯田 義彦, 伊藤 弘, 上北 恭史, 下田 一太, 滝沢 誠, 武 正憲, 野中 勝利, 松井 圭介, 松井 敬也, 八木 春生, 吉田 正人
授業概要 世界遺産学学位プログラムの教員全員の研究内容の紹介。遺産の評価と保存、マネージメントとブランディング、国際協力などについての討論を通して、研究に必要な基本的視点を確立する。また最新の遺産の保護と活用の事例に関する報告、文化遺産・自然遺産保護の現場の訪問を通して研究の先端に触れる。履修する大学院生は、最も関心を抱いている文化遺産・自然遺産の分野を選び、研究対象となる課題について発表することを求められる。
備考 オンライン(同時双方向型) 対面 希望者はオンライン受講可能
授業方法 講義
学位プログラム・コンピテンシとの関係 知の活用力、マネージメント能力、コミュニケーション能力、チームワーク力、国際性、共通知の活用力、専門知の活用力、共通技能の活用力、専門技能の活用力、国際実践力
授業の到達目標（学修成果） 世界遺産の保護の基礎となる理念を確立し、技術的体系を実現するという世界遺産学の総論と事例紹介を行う。そして学生たちは、世界遺産研究に必要な研究の基本的視点について議論をすることができるようになる。

■支援室について

修学上の様々な手続き、問い合わせについては、体育芸術エリア支援室（5C棟2階）にて対応しています。窓口の対応時間は平日の9:00から17:00まで（12:15～13:15を除く）です。窓口の他、支援室内には証明書自動発行機やレポートボックス、TAの出勤簿などがあります。

大学院教務窓口：授業・成績などに関すること。修了・休学等に関すること。TAに関すること。教員免許に関すること。他

学生支援窓口：奨学金・授業料免除に関すること。拾得物に関すること。駐車場利用に関すること。他

研究支援窓口：研究倫理に関すること。他

■重要な連絡について

修学に関する重要な連絡事項は、E-mailにより配信する場合があります。原則として大学から学生全員に付与されているアドレス（@u.tsukuba.ac.jp）に送信しますので、常用しているアドレスに転送設定するなど、即時確認できるようにしてください。

■在学生向け URL

サイト名	QRコード	URL	サイト名	QRコード	URL
大学院便覧		https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses/index.html	筑波大学大学院人間総合科学学術院 HP		https://www.chs.tsukuba.ac.jp/
TWINS		https://twins.tsukuba.ac.jp/campusweb/ 履修登録・掲示板確認・成績確認など、学修の様々な場面で使用するシステムです。	筑波大学附属図書館 Tulips		https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/
筑波大学教育課程編成支援システム (Kdb)		https://kdb.tsukuba.ac.jp/ 科目の情報（シラバス等）を検索・閲覧できるシステムです。	学内無 LAN システム		http://www.cc.tsukuba.ac.jp/network/access/
学習管理システム manaba		http://www.ecloud.tsukuba.ac.jp/manaba オンライン授業の基本となるシステムです。講義の視聴やレポート提出を行います。	筑波大学統一認証システム		https://account.tsukuba.ac.jp/
筑波大学キャリア支援チーム		https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/ インターンシップや進路についての様々な情報が掲載されています。	TA ハンドブック		https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-ta-handbook/

2. 教員研究分野一覧(博士前期課程)

研究分野	教員名	研究内容
持続的遺産保全	飯田義彦	自然・人間系における持続可能な遺産の保管理に関する研究を行う。とくに持続可能性、生物文化多様性、地球環境学の観点から実践的に考究する。
現代社会の文化芸術研究と都市遺産、創造性と市民参加	池田 真利子	ドイツを中心とした中央・西ヨーロッパの都市遺産の市民参加型保存・活用のほか、世界あるいは日本の現代社会における有形・無形の文化の保存・継承・変容と創造性・文化創造産業の役割に関して、人文的・地理学的観点に基づく理論・実証的研究を行う。
開発観光計画	伊藤 弘	地域の特徴を形成する自然と文化を、持続的に活かし続ける観光および地域のあり方と、その実現方策に関する研究を行う。
遺産整備計画	上北 恭史	遺跡、建造物の保存手法、地域再生事業などの活用計画について研究し、地域の自然環境とともに継承されてきた木造建造物や伝統的集落の調査や保存体制の構築、防災への対策、保存活用計画策定など遺産の保存に関わる計画的手法を考究する。
文化的景観	黒田 乃生	人と自然の関わりが生み出した文化的景観について保護制度、景観の変遷と住民とのかかわりに関する研究を行う。
建築遺産	下田 一太	歴史的建造物や伝統的建造物群の歴史・意匠・構造・技法等の学術的評価や、保存・修復・活用にかかる研究を行う。
保存科学	松井 敏也	遺産や博物館資料等の保存と活用のために、自然科学的手法を用いてそれらの劣化の解明や、予防技術、修復材料などの研究を行う。
美術遺産	八木 春生	本研究分野では、中国を中心とする仏教美術作品が、いかなる目的で造られ、それをどのように見せようとしたかを明らかにすることで、それぞれの評価をおこなう。

2023 年 4 月現在

※世界遺産学学位プログラムでは「国際遺産学」「遺産の評価と保存」「遺産のマネジメントとプランニング」の3つの専門分野を軸に教育と研究を行っています。それぞれの分野については下記 HP をご覧ください。

<https://www.heritage.tsukuba.ac.jp/> 世界遺産学学位プログラム＞PROGRAM 教育・研究プログラム

2. 教員研究分野一覧（博士後期課程）

研究分野	教員名	研究内容
持続的遺産保全	飯田義彦	自然・人間系における持続可能な遺産の保全管理に関する研究を行う。とくに持続可能性、生物文化多様性、地球環境学の観点から実践的に考究する。
現代社会の文化芸術研究と都市遺産, 創造性と市民参加	池田 真利子	ドイツを中心とした中央・西ヨーロッパの都市遺産の市民参加型保存・活用のほか、世界あるいは日本の現代社会における有形・無形の文化の保存・継承・変容と創造性・文化創造産業の役割に関して、人文学的・地理学的観点に基づく理論・実証的研究を行う。
開発観光計画	伊藤 弘	地域の特徴を形成する自然と文化を、持続的に活かし続ける観光および地域のあり方と、その実現方策に関する研究を行う。
遺産整備計画	上北 恭史	遺跡、建造物の保存手法、地域再生事業などの活用計画について研究し、地域の自然環境とともに継承されてきた木造建造物や伝統的集落の調査や保存体制の構築、防災への対策、保存活用計画策定など遺産の保存に関わる計画的手法を考究する。
文化的景観	黒田 乃生	人と自然の関わりが生み出した文化的景観について保護制度、景観の変遷と住民とのかかわりに関する研究を行う。
建築遺産	下田 一太	伝統建築、歴史的地区、考古学サイトの歴史・意匠・構造・技法等の学術的評価や、保存・修復・活用にかかる研究を行う。
保存科学	松井 敏也	遺産や博物館資料等の保存と活用のために、自然科学的手法を用いてそれらの劣化の解明や、予防技術、修復材料などの研究を行う。
美術遺産	八木 春生	本研究分野では、中国を中心とする仏教美術作品が、いかなる目的で造られ、それをどのように見せようとしたかを明らかにすることで、それぞれの評価をおこなう。

2023 年 4 月現在

4. 筑波大学令和5年度学年歴カレンダ―

令和5年度学年暦カレンダー

学群/大学院(筑波キャンパス)

春 学 期												秋 学 期																																			
パターン1 (ABCモジュールを基本) ・ABCモジュール15週授業+期末試験 ・Aモジュール 5週授業+期末試験 ・BCモジュール 10週授業+期末試験												パターン2 (ABモジュールを基本) ・ABCモジュール10週授業+期末試験 ・Aモジュール 5週授業+期末試験 ・BCモジュール 10週授業+期末試験												パターン3 (ABCモジュールを基本) ・ABCモジュール15週授業+期末試験 ・Aモジュール 5週授業+期末試験 ・BCモジュール 10週授業+期末試験												パターン4 (ABCモジュールを基本) ・ABCモジュール10週授業+期末試験 ・Aモジュール 5週授業+期末試験 ・BCモジュール 10週授業+期末試験											
曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	備考																		
4月							1								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	春季休業4.1-4.4 入学式4.5 学群/生次TOEIC®IPテスト4.6 新入生オリエンテーション4.5-4.7 オリエンテーション予備日4.10-4.12 春季期授業開始4.13																		
	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22																			
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																									
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																																
	23	24	25	26	27	28	29	30																																							
5月																													※1日は水曜授業を実施 春季スポーツ・デー5.13-5.14(予定) 春Aモジュール期末試験5.23																		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27																				
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																						
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																													
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																																				
6月																													秋ABモジュール期末試験 12.21-12.27 冬季休業12.28-14																		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27																				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																				
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																											
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																																		
7月																													大学入学共通テスト1.13-1.14 ※16日は月曜日の授業を実施																		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27																				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																				
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																											
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																																		
8月																													秋ABCモジュール期末試験2.7-2.14(14日は月曜授業の試験を実施) ※14日は月曜日の授業を実施 秋Cモジュール期末試験2.15-2.16 春季期授業終了2.14 春季休業2.17-3.31 個別学力検査等前期日程2.25-2.26																		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27																				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29																					
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																											
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																																		
9月																													医学類卒業式3.8 個別学力検査等後期日程3.12 卒業式/学位記授与式3.25 卒業式/学位記授与式3.25																		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27																				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29																					
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																											
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																																		

(共)

1. 〇囲みは、国民の祝日に関する法律による休日（振替え休日含む）を示す。
2. 期末試験日は■■■■で示し、試験予備日を■■■■で示す。
3. 授業日は■■■■で示す。
4. 入学式・新入生オリエンテーション・卒業式・学位記授与式・TOEIC® IPテストは■■■■で示す。
5. 10月2日(月)は、記念イベントの関係で全日臨時休業とする。
6. 11月6日(月)は、大学行事(学園祭)による臨時休講日。
7. 11月28日(火)～11月30日(木)は推薦入試の関係で全日臨時休業とする。
8. 11月28日は3年次TOEIC® IPテストを実施する。
ただし28日(金)及び1月15日(月)は大学入共通テストの関係で全日臨時休業とする。

2023 年度世界遺産学学位プログラム履修ガイド

Syllabus of the degree program of heritage studies for the academic year of 2023

2023 年 4 月 / April 2023

発行：筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群世界遺産学学位プログラム

Graduate School of Comprehensive Human Sciences, Master' s and Doctoral Program of Heritage Studies Pub.